

# 和歌山の留学生

きのくに

第30号  
(2019)



和歌山地域留学生等交流推進協議会

## 目 次

### 1. 巻頭言

「和歌山信愛女子短期大学は国際的な家族の一員です」

和歌山信愛女子短期大学 学長 森田 登志子

### 2. 留学生から

#### 2-1 「国際交流を考える」

和歌山工業高等専門学校 知能機械工科 4年

AMARYLLIS KIWIN WELLSON (マレーシア)

#### 2-2 「私の故郷はこんな国」

和歌山工業高等専門学校 電気情報工学科 4年 NAO KOR SAYVANG (ラオス)

#### 2-3 「第二の家、みんなが家族のように」

近畿大学 生物理工学部 3回生 曾 炫凱 (台湾)

#### 2-4 「The land of opportunity」

和歌山大学 経済学部経済学科 3回生 AHYAEV DOVUDSHOH (タジキスタン)

#### 2-5 「私の和歌山の印象」

和歌山大学 日本語・日本文化研修留学生 ERGASHOV KHOLMIRZA (ウズベキスタン)

### 3. 国際交流を考える

#### 3-1 「人生の大きな一歩」

和歌山大学 観光学部観光学科 4回生 小滝 侑

### 4. 調査と統計

4-1 外国人留学生生活実態に関するアンケート調査集計結果

4-2 県内外国人留学生との交流行事(事業)に関する調査集計

4-3 県内外国人留学生との交流行事(事業)写真集

4-4 和歌山地域の留学生受入状況

4-5 和歌山地域留学生の推移

### 5. 協議会の活動

5-1 事業報告

### 6. 資料

6-1 和歌山地域留学生等交流推進協議会要項・申合せ事項

6-2 和歌山地域留学生等交流推進協議会委員名簿

## 和歌山信愛女子短期大学は国際的な家族の一員です

和歌山信愛女子短期大学  
学長 森田 登志子

和歌山信愛女子短期大学の前身である和歌山女子専門学校は、地域の期待に応える女子教育の場として、戦後間もない1947年に設立されました。本学の経営母体である「ショファイクの幼きイエズス修道会」は、1859年に教育と社会福祉の事業を通してキリストの愛を伝えるためにフランスに創立されたのですが、日本での活動は4人のシスターが派遣された1877年に遡ります。同修道会は、東京から沖縄まで全国約30カ所で教育や社会福祉の事業に従事しており、本学の他に姉妹校が大阪・熊本・久留米にあります。幼稚園は全国16園、福祉事業関連その他13支部があり、国外でもフランスに総本部、そしてカナダ、ドミニカ共和国、アフリカのチャド、カンボジアに支部を設置しています。本学は、この国際的な家族の一員として、和歌山での教育を続けてまいりました。



現在、本学には保育科、生活文化学科があり、生活文化学科は生活文化専攻と食物栄養専攻があります。保育科と食物栄養専攻は、和歌山県唯一の保育士および栄養士養成校であり、これまでに数多くの地域で活躍する人材を輩出してまいりました。「ひとつの心、ひとつの魂」という建学の精神にならい、カトリック・ミッション校としての伝統を守りつつ日々の教育を行っています。残念ながら、現時点では本学に留学制度などはなく、また留学生を受け入れる体制は整っていません。しかし、学生はキリスト教を通して、急速に国際化の進む和歌山にあって、民族と国境を越えて人とその文化をよく理解し、その必要に応えようとする積極的な奉仕の精神と実行力を培っています。また、学生を指導する教職員は、兵庫県宝塚市仁川にある修道会本部に研修に赴くことで、建学の精神についてより理解を深めると共に、自分たちが国際的な家族の一員としてミッションに関わっていることを自覚し、それを学生にフィードバックするように努めております。

関西国際空港に近く、また世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」をはじめとした豊富な観光資源を有する和歌山には、多くの海外の方が訪れています。学生が社会に出てから、海外の方と接する機会も格段に増えることでしょう。そうした社会の変化を見据えながら、今後は本学も海外留学などの教育プログラムはもちろんです。留学生の受け入れも視野に入れつつ、国際的な家族の一員としての責任を果たしてまいりたいと思います。

# 国際交流を考える

和歌山工業高等専門学校 知能機械工学科 4年  
AMARYLLIS KIWIN WELLSON (マレーシア)

留学生として、時々ホームシックになり、気心の知れた周りや他の留学生に囲まれる必要があると感じます。毎年、様々な活動に参加して、ホームシックの回復と解消をしています。

夏休み前に、留学生はバーベキューを行います。それは年の前半の終わりをマークし、自分の努力を祝うために行います。また、学校に入学したばかりの留学生との絆を深めるのにも役立ちます。

そして、近畿圏の留学生は毎年異なる高専が主催する交流会に参加します。去年の交流会は明石高専の開催でした。この交流会で母国の友達と出会うことができ、他の国の留学生も友達になることができます。同様に、日本の歴史的な場所についても学び、日本の文化も体験できます。



それだけでなく、和歌山高専も高専の留学生に対する交流会を毎年行います。この交流会では和歌山県内の各地に行きます。去年は、串本に行きました。熊野那智大社で日本一高い滝を見たほか、海中公園に行ってイルカショーを見ました。

毎年開催される高専祭では、私たちは国から持って来た食べ物や飲み物のブースを開きます。去年、タイの茶葉から作られたミルクティーを販売しました。今年は、モンゴルの飲み物を販売しました。飲み物はモンゴルの伝統的な飲み物でした。母国の食べ物や文化を日本人に紹介したいので、できれば毎年高専祭に参加しようと考えています。

それ以外に、和歌山のロータリークラブはイベントに私たちを招待してくれます。



2019年5月に、道成寺に行って、歴史について学びました。2019年6月に、茶道体験に招待されました。お茶会がどのように行われるかを見ると同時に作法を知ることができたので、面白かったです。

留学生として、日本で勉強することは珍しい経験です。言葉の壁が時々あるが、それは分析スキルを高め、視野を広げ、実際の世界で理論を適用することに対する理解を深めることに気付きます。簡単ではないですが、このユニークな体験が大好きです。

皆さん、機会があれば留学をしましょう！



## 私の故郷はこんな国

和歌山工業高等専門学校 電気情報工学科 4年  
NAOKOR SAYVANG (ラオス)

初めまして、私はラオスから来た留学生のナオコー サイワーン(NAOKOR SAYVANG)と言います。現在、私は和歌山工業高等専門学校で電気情報工学を勉強しています。今から、ラオス国について「国・文化・言語・民族など」をご紹介します。よろしくお願いいたします。

ラオス国は東南アジアにある国です。地理としては、海と接しない内陸国で五つの国に囲まれています。国土の多くが山岳で占められており、隣国に比べて比較的森林資源が多く残っていた地域であるが、近年急激な森林破壊が問題となっています。ラオスの行政区分は地方に議会を設置しないで、県知事は国家主席が、郡長は首相が、それぞれを任命するという中央集権的地方行政制度をとっています。首都のヴィエンチャン市を含んで広域ヴィエンチャン行政区であるヴィエンチャン都と 17 県から構成されますが、北から南までに「北部・中部・南部」の県の三つ部県と言われています。ラオスの首都はヴィエンチャンで、主要都市にルアンパバーン、サワンナケート、パークセーなどがあります。

これらの都市はとても有名な観光地がたくさんありますが、人口も多いです。ラオスの一番大きな川はメコン川です。メコン川周辺には小さく平地が広がっています。メコン川はラオスを貫いて流れており、ミャンマーと、またタイとの国境をなしています。メコン川は栄養塩類が少ないが、雨季に洪水となる後背地・氾濫原の底土からの栄養塩類を受けられます。そのため藻類やプランクトンなどが多く発生し、草食性・プランクトン食性の魚の藻場になっています。このようなことから魚類が多く周囲の人たちの漁場になっています。

ラオスの気候は日本と大きく違います。日本は「春・夏・秋・冬」がありますが、ラオスの気候はモンスーンの影響で明瞭な雨季と乾季があり、大まかに5月から11月にかけては雨季、その後は乾季が翌年4月まで続きます。

そして、ラオス国は東南アジアにある国で海と接しないので、津波・地震・台風などはありません。

ラオスの民族は大きく三民族があります。ラオス人は住む地域の高度によって、低地ラーオ族（ラーオルムは、国民の約7割、ラオス北部の山間盆地）、丘陵地ラーオ族（ラーオトゥンは、国民の約2割、山麓部に居住、水田水稲作と焼き畑の両者を組み合わせ）、高地ラーオ族（ラーオスーンは、国民の約1割、山深くに居住、陸稲・トウモロコシを焼き畑で栽培）に分けられます。それぞれの民族の文化・衣服・言葉などもほとんど違いますので、みんなのお祭りの期間が決まります。

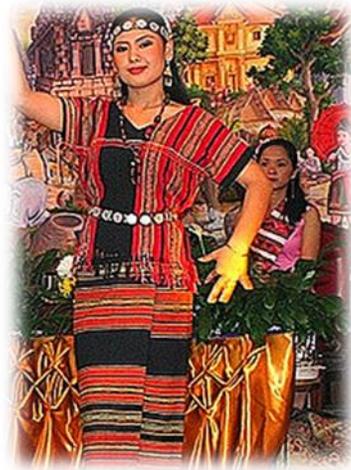




ラーオルム



ラーオスーン



ラーオトゥン

ラオスの観光地については、ルアン・パバンの町とワット・プーなどの2つの世界文化遺産やジャール平原などがありますが、その中の多くは自然の観光地や文化(お寺)であります。ルアン・パバンの町は、ラオスの一番有名で美しい滝・お寺があります。そして、料理もおいしいですので、旅行に来る外国人は多いです。



最後に、言語についてご紹介しますが、先ほどの三つの民族はみんなが民族によって自分の言葉を使っています。しかし、仕事・学校・勉強などの時はラーオ語を使います。それは、ラオスの第一言語です。ラーオ語とタイ語は同一言語に属する個別の地域変種の関係にあるが、ラオスではタイからの影響力を遮断するため、ラーオ語の独立性を強調する傾向にあります。ラーオ語は「ジャオ」や「ドイ」のような日本語の意味「はい、いいです」は一般的な丁寧語も含め、何段階もの敬語がある非常に礼儀正しい言語であります。

## 第二の家、みんなが家族のように

近畿大学 生物理工学部 3回生  
會 炫凱 (台湾)

2019年、台湾から来日4年目、私は3回生へ進級し、三谷 匡先生の「遺伝子機能制御学」という研究室に入りました。一、二年生の時の友達と別れ、新たな環境へ行くことに多少不安がありましたが、先輩と他のメンバーが誰にでも優しく親切に接してくれました。私が所属している研究室は名前の通り、遺伝子機能を制御する研究をしています。授業で学んだ実験方法と結果を活用し、研究に用いることは想像以上に難しいです。授業中よく学んだ「プライマー」や「制限酵素」、「PCR」など、正直扱いは全くわかりませんでした。二回生の時の学生実験で教わったのですが、「原理」、「処理時間」、「その制限酵素・プライマーを選んだ理由」などは正直全然わかりませんでした。しかし、研究室4回生の先輩から教わり、実験手順や試薬の選び方が段々わかってきました。そして、三谷先生からも専門科目演習といった授業から、論文の読み方や実験原理を指導してくれます。

三谷先生の研究室はただ実験をするところではなく、第二の家のように、みんなが家族のようです。暇なときは雑談して笑い合い、お昼は一緒にコンビニに行き、夜遅くまで実験すると、みんなで晩御飯を食べに行きます。日常生活は家族のようです。先輩たちは兄、姉のように私たちをサポートし、たまにイベントを開催してくれます。そして、論文・課題にわからないところがあったら、親切に教えてくれます。また、卒業生の大先輩たちも時々見に来てくださり、指導してくれます。

私の留学生活は、強いて言いますと、三回生後半から始まりました。キャンパスは山の中腹にあり、周りに料理の美味しい店がたくさんありますが、バス以外の交通手段がないと、ほとんど行けそうにありません。三回生後半、研究室で遅くまで実験し、朝も早いということを考え、研究室に入る前にバイクを買いました。そして、最近では学校付近の店をめぐり、グルメ好きな先輩から美味しい店を教わって、食べに行ってます。



## The land of opportunity

和歌山大学 経済学部経済学科  
AHYAEV DOVUDSHOH (タジキスタン)

私はタジキスタンの地方出身です。現在和歌山大学経済学部3年生です。

なぜ日本に来たの?」とよく聞かれます。理由はちょっと変わっていますが、実は中学生の頃日本人と出会った経験がきっかけでした。その時日本語ではなく、タジキスタン語で話しかけられました。私よりもタジキスタン語が上手で、恥ずかしい思いをしました。「なぜ日本人が母国語を学んだのか?なぜ私よりも母国語が上手なのか?」とずっと思っていました。「絶対に彼の母国語を学んで、彼よりも上手になって、将来、話をして彼を驚かせてみせる!」と自分に約束しました。そういうちょっと変わった理由で、日本語を学びはじめ、日本に留学を決めました。これが後に私の人生を大きく変えた決断でした。

グーグルでタジキスタンと検索すれば、非常に自然に恵まれている国だとわかるかと思います。富士山より2-3倍ほどの高い山から流れて来ている川や、透明な湖などが観光客に人気です。自然だけではなく、料理も国の魅力の一つであり、タジキスタン独特の味付けです。



また、タジキスタンは長い歴史があり、非常に魅力の多い国です。その為、シルクロードの中心であったタジキスタンは、多くの国々に知られていると思いましたが、日本に来たら:

- お国は?
- タジキスタンです。
- えっ?どこ?



誰も母国のことを知らないことに気づきました。このような会話が、来日してからほぼ変わらずに現在まで続いています。日本語もあまり分からず、母国について説明しようにもうまく伝えることができませんでした。それ以来、母国について他人にもっと知ってもらいたいと思い、日本語を猛勉強しました。日本の幼稚園をはじめ、高校や様々な交流会に参加し、母国についてのプレゼンをしてきました。主に母国の魅力的なところを紹介し、誰もが行きたくなくなるような伝え方ができるよう、意識して取り組みました。

このような小さな目標が段々と大きくなり、最終的には自分自身が大きく成長することができました。プレゼンからスピーチコンテストへ、学内スピーチコンテストから全国スピーチコンテストへ。「America is the land of opportunity」と言われていますが、私には「Japan is the land of opportunity」です。日本に居る間にその「Opportunity」、機会を出来るだけ利用し、出来る限り多くのことを学んでいきたいと思っています。最終的にはこの経験や知識を活

かし、母国の経済成長に貢献出来たらと思っています。

もちろん、勉強ばかりではなく、学生生活も楽しんでいくつもりです。これからも新しい機会、新しい出会い、新しい思い出、全てを大切にしていきます。



# 私の和歌山の印象

和歌山大学 日本語・日本文化研修留学生  
ERGASHOV KHOLMIRZA (ウズベキスタン)

私はウズベキスタン出身で、タシケント国立東洋学大学の4年生だ。昨年9月から私は日本の文部科学省から奨学金をもらい、一年間「日本語・日本文化研修留学生」として日本に留学している。来日は初めてだったので、飛行機に乗った際は日本への思いで胸がいっぱいになり、ひどく緊張した。そして関西空港に到着すると同時に、私の夢だった日本での留学生活がついに始まったと感じ、ドキドキで胸が張り裂けそうだった。



和歌山大学到着後は、すぐに他の留学生たちと友達になり、同期の日研生5人で和歌山県の主な観光名所である和歌山城へ行った。そこで私たちは城内を見学しつつお互いに交流を深め、共に大変すばらしい時間を過ごした。そしてついに授業が始まると、和歌山での留学生活が本格的に始動し、自分にとって大変刺激的な日々を過ごすこととなった。まだ出会ったばかりの同級生達の上手な日本語を聞き、その影響で自分自身も俄然やる気になり、皆で切磋琢磨しながら勉学に励んだ。さらに、大学の先生方が素晴らしいのはもちろんの事、困ったときに親身になって相談に乗ってく

れる国際交流課の存在は、とても大きいと感じている。また、自転車まで貸してくれ、様々なイベントを行い、色々な所へ連れて行ってくれる、留学生達をいつも支援して下さっているNPO法人WINコンコード様にも感謝でいっぱいだ。



更に、2019年に日本国内のベスト観光地トップを取った和歌山(熊野をはじめ高野山、白浜、紀三井寺、那智の滝等)を旅する事ができるチャンスに恵まれている自分は、本当に運がいいと感じている。それから、私達は毎年12月に行われる和歌山大学の「留学生による日本語スピーチコンテスト」にも参加する事ができた。しかも、その大変魅力ある数々スピーチの中で、私が優勝できたという事実は、自分にとって何ものにも代え難いほど嬉しい出来事だった。



さて、時が経つのは早く、この数か月はあっという間に過ぎ去ってしまった。どんどんと帰国の時期が近づいているが、目標を忘れずに研究論文にも取り組み、日本語能力試験対策も忘れず、今は多くの友人と楽しみながら日々を過ごしている。帰国後は修士課程を取る為に再度



日本に留学する事を目指している私は、いつかウズベキスタンと日本を繋ぐ懸け橋のような存在になる為にも、今後において何事も全力で取り組んでいきたいと考える。



# 人生の大きな一歩

和歌山大学 観光学部観光学科 4 回生  
小滝 侑

マサチューセッツ州、それはアメリカ東海岸に位置し高緯度で夏の暑さはそれほど厳しくもないが、冬は大変冷え込む。今回はこのような場所で交換留学生として2学期間、約9か月を過ごした。交換留学生として訪れたのはマサチューセッツ州都ボストンから南に車で1時間、ブリッジウォーターという小さな町に位置するブリッジウォーター州立大学である。マサチューセッツ州内約150の大学、短期大学のうち10番目の大きさを誇る大学である。それゆえに大学の敷地は非常に広大で、隅から隅まで歩けば20分ほどかかる。そのような広大な敷地の多くは芝生でおおわれた広場だったりして、学生が芝生の上で寝ながら勉強したりフリスビーやキャッチボールなどを行っている光景もしばしば見られ、アメリカならではのレジャーライフが垣間見られる。今回はこのような大学での生活並びにアメリカでの暮らし、旅行について少しだけご紹介させていただきたい。

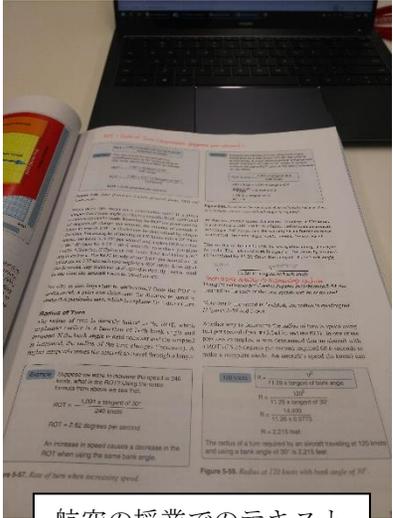


大学のシンボルの建物との写真

### ①アメリカ交換留学生ならではの勉強経験

大学は日本のような学部制度ではなく、メジャー（日本では専攻に近い）制度を採用しているため、学生は一つの専門分野に特化した授業を受けるだけでなく、そのほかにも幅広い分野に渡る授業を履修することが求められる。よって授業内では理系文系問わず様々なメジャーから来た生徒と授業を一緒に受けることになる。クラスメートとのディスカッションの時間になると、彼らの繰り出す専門単語や知識が理解できず悩まされることがよくあった。しかし、結果としていろんな分野の人と話すことができたという経験は忘れがたい。

私がアメリカで受けた授業で紹介したいものが二つある。一つはEnglishメジャーの授業である。この授業では名前の通り「英語」の勉強をするわけである。もちろん大学での英語の授業のため、語学学校で受けるような英会話のような授業ではない。この授業は英語の論文構成であったり、英単語の適当な使い方、文章の読み取り方などである。日本でいう「国語」のような授業であるが、日本では国語は高校までの科目であり、多少の違和感を覚えるかもしれない。私自身多くのアメリカ人大学生が「英語」の授業を受けることに少し驚いていた。いざその授業を受けてみると、歴史が深く世界中多様な場所で使われている英語は内容が深く、英語を学ぶのに終点はないことを改めて実感した。アメリカ人と受ける英語の授業は素直に楽しむことができた。



航空の授業でのテキスト

もう一つの授業はPrivate Pilot Ground School（自家用航空操縦学）である。高校の時から漠然とパイロットになりたいという夢があり、ブリッジウォーター州立大学を交換留学先として選んだ理由の一つでもある。ほかの授業とはことなり、基本的には授業内にはパイロット学生しかいない。また、学生も様々なバックグラウンドを持った者ばかりで、中にはすでにパイロットとしての職を持っている

て、単位を取りに来ている学生もいたり、また中にはこれから操縦訓練を行う学生もいたりといった具合であった。このような授業だからこそ、経験者の学生が私を含めたそのほかの学生に経験もしたことのない空の上での出来事などを共有してくれたり、面白い授業体験ができた。授業前後に多くの予習復習時間を要したが、それさえしていれば難易度としてはそれほど高くなかった。むしろ日本人だから航空分野でもよく用いられる数学はアメリカ人よりはできる印象があり、どうにか乗り切ることができた。

## ②初めての一人暮らし、そして寮生活

映画などでたまに目にするアメリカでの学生生活。渡航前はどちらかと言うと華やかな印象があり、日本の学生の一人暮らしや寮生活とはまた違ったイメージを持っていた。そしてそのイメージは的中した。私はアメリカ人のルームメイトがいて、その部屋はとても質素なものだった。備え付けの物は机、ベッド、そして収納棚。トイレやシャワーはほかの同フロアに住む学生と共同。要するにトイレとシャワーを使うには部屋から出なければならない。このような生活の中、寮内でほかの学生と触れ合う時間はとても多く、同フロアの学生とはとても仲良く時には夜遅くまで勉強し、また時にはピザパーティーをしたり映画を見たりゲームをしたりして過ごした。アメリカ人学生は勉強するときと遊ぶ時のメリハリをつけられる人が多く、勉強するときには数時間集中して勉強し、また遊ぶ時には心の底から楽しんでいるような感じだった。大変有意義な時間を過ごすことができた日常生活だった。



21歳誕生日はバーで

## ③せっかくアメリカに来たのだから色んなところを旅してみたい！

表題にあるように、アメリカでいる間はお金がある限りとにかく旅行した。ボストン近郊はもとより、ニューハンプシャー州、ニューヨーク、フロリダ州、テキサス州、ロサンゼルス、ラスベガス、グランドキャニオンなど。このほかにもたくさんの土地を訪れた。アメリカ旅行の面白いところは、訪れる都市によって全然違った印象を受けること。例えば、私の大学はボストンの近くにあり、ボストンはビル立ち並び、通りが狭く混雑しているイメージ。しかし、飛行機で6時間ぐらい離れたロサンゼルスに行ってみると非常に開放的な空間で道路は広く、バイクに乗っている人も多かったりする。ボストンの方は冷たい雰囲気があるが、南の方は温かい。話す言語同じでも、外国に来ているような気分になる。国際免許を持っていたので、フロリダ州とカリフォルニア州ではレンタカーを借りて運転した。グランドキャニオンを訪れる道中の砂漠の壮大観、またフロリダ州キーウェストに行く際の海と空の青々とした光景は脳裏に焼き付くほどだった。



2019年はニューヨークでの  
カウントダウンからスタート

最後に、学生なら一度は憧れるだろうと思う留学生活ですが、成し遂げるのは大変大きなサポートが不可欠である。今回この交換留学を行うにあたって家族、友人そして大学関係者の方々には日に日に多様な面からお世話になり、感謝したい。そしてこのようなサポートのおかげでできた留学生活は一生忘れることなく、また次の人生のステージへ精進していきたい。

## 外国人留学生生活実態に関するアンケート調査集計結果

### 調査目的

県内外国人留学生の円滑な受け入れの促進と交流活動の推進を図るため留学生に係る生活面での実態を把握し、和歌山県地域留学生等交流推進協議会での検討資料とする。

(F) 健康について

(G) 和歌山地域住民との交流について

(H) その他

### 調査項目

(A) 基本的事項について

(B) 住居・通学について

(C) アルバイトについて

(D) 生活費について

(E) 奨学金・授業料免除について

### 調査時期・対象

● 令和元年

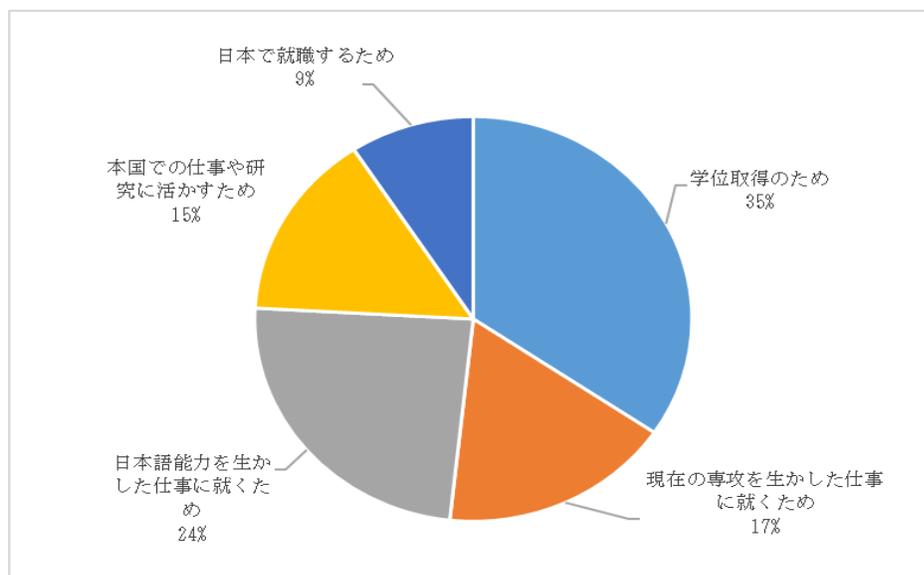
和歌山県内の大学、短期大学、高等専門学校に在籍している留学生全 216 名

回答数 計 88 名

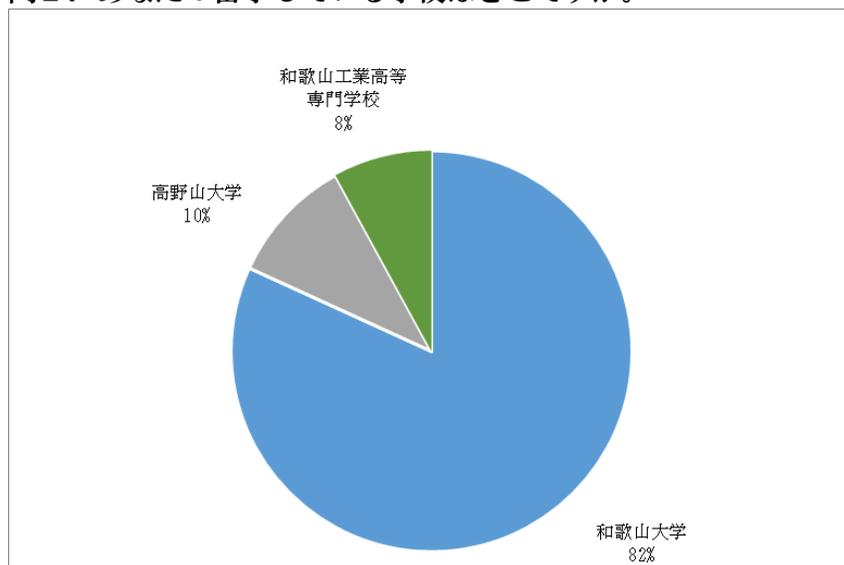
回収率 40 %

### (A) 基本的事項について

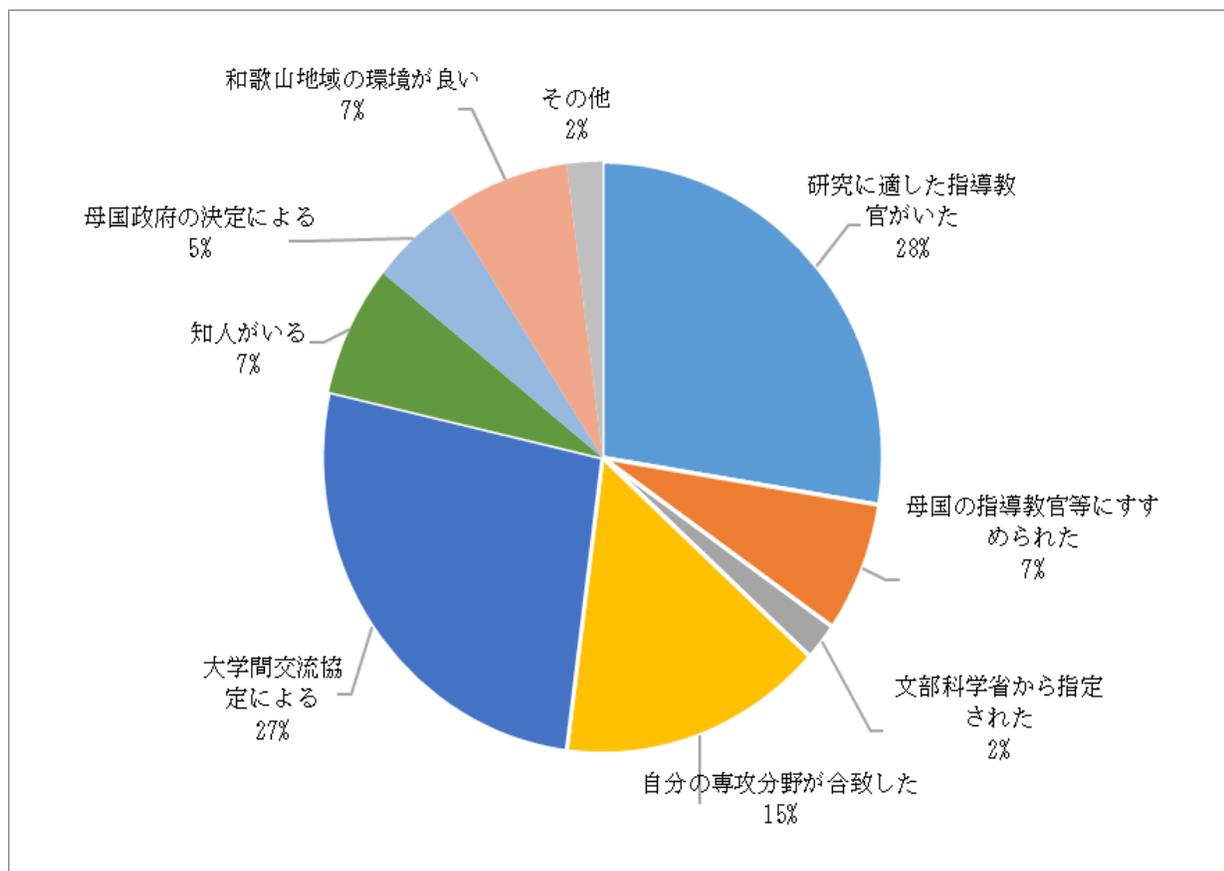
問1. あなたが日本に留学した理由は何ですか。



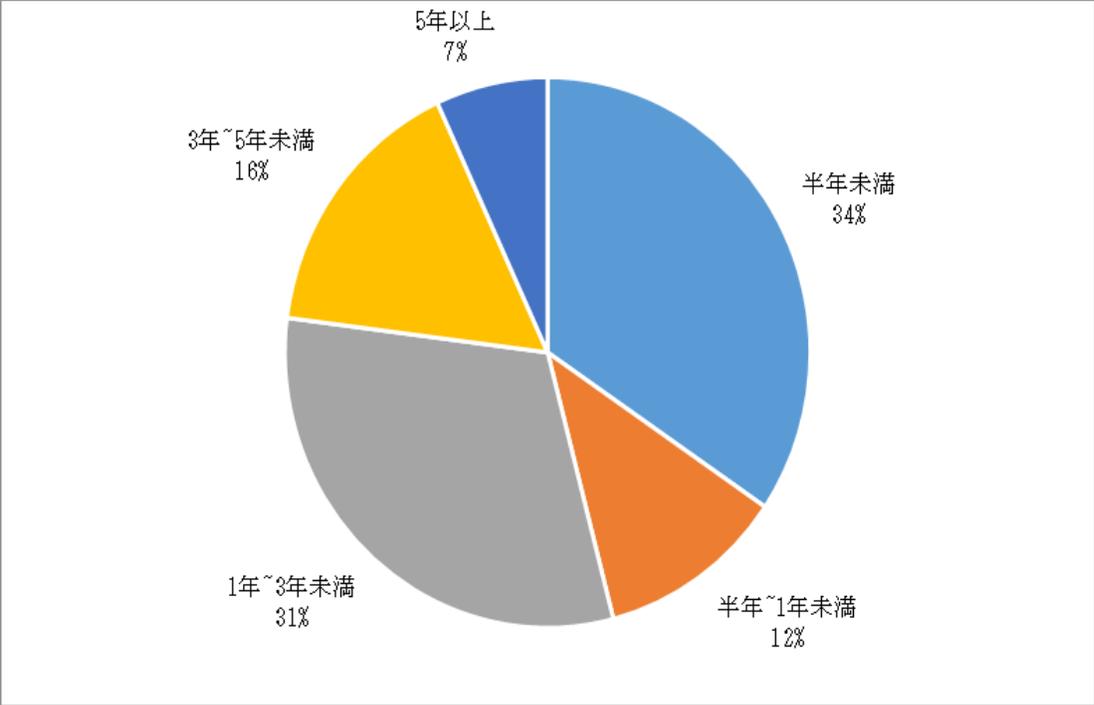
問2. あなたの留学している学校はどこですか。



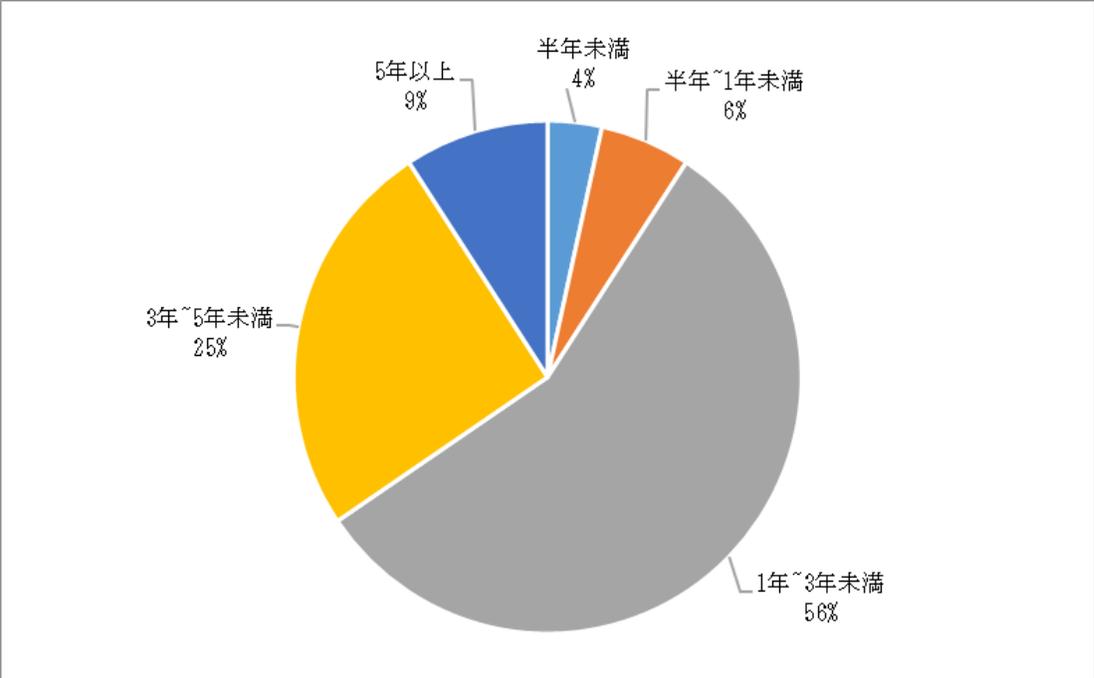
問3. あなたが和歌山の今の大学等への留学を決めた理由は何ですか。



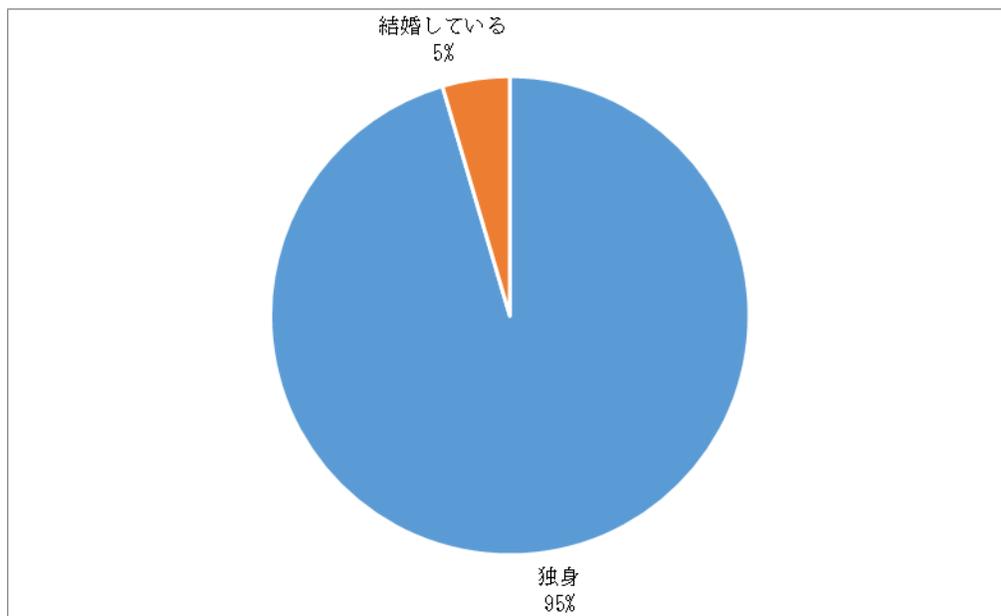
問4. あなたは日本に来て何年になりますか。



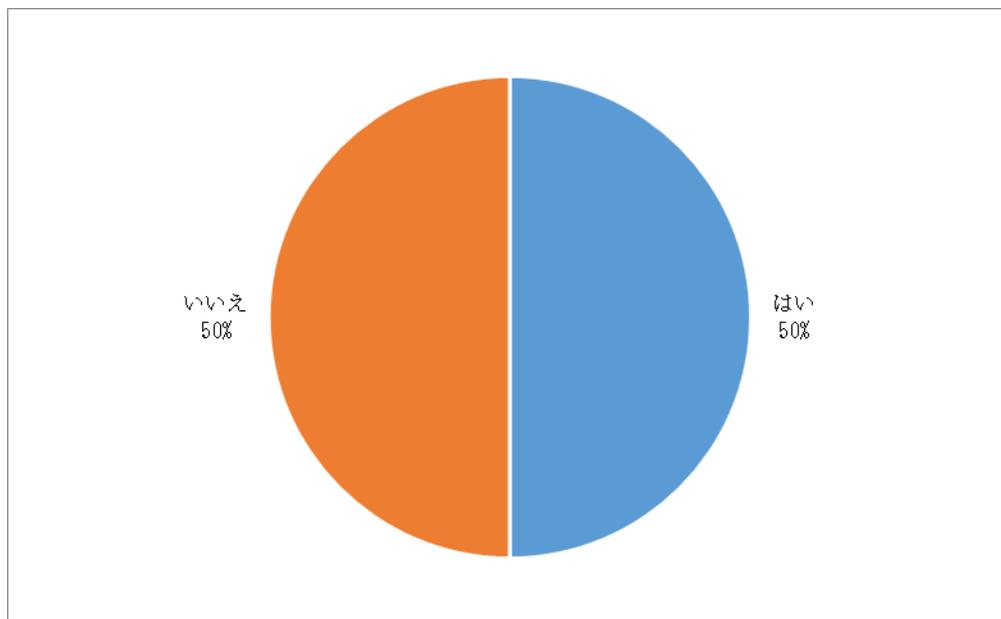
問5. あなたの日本語学習経験は何年になりますか。



問6. あなたは独身ですか、それとも結婚していますか。

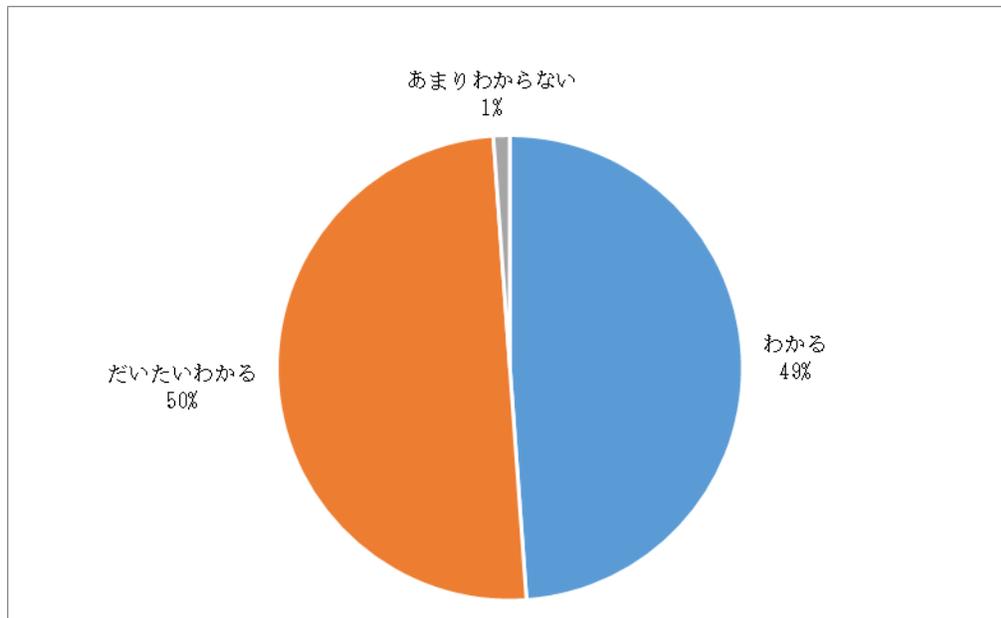


※結婚している場合、あなたの妻（夫）や子どもは日本で一緒に住んでいますか。

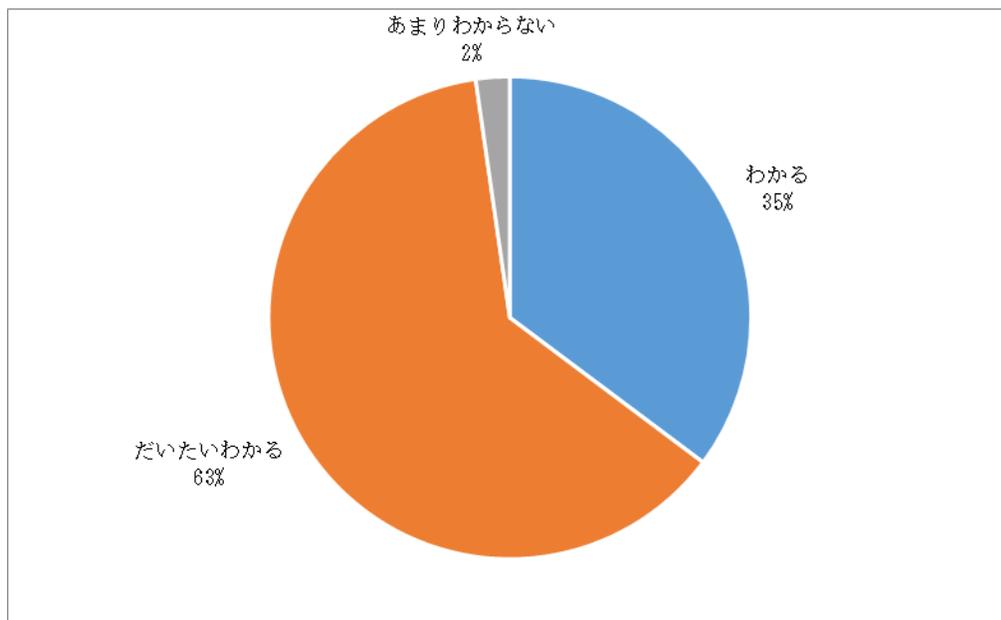


## 問7. 日本語能力について

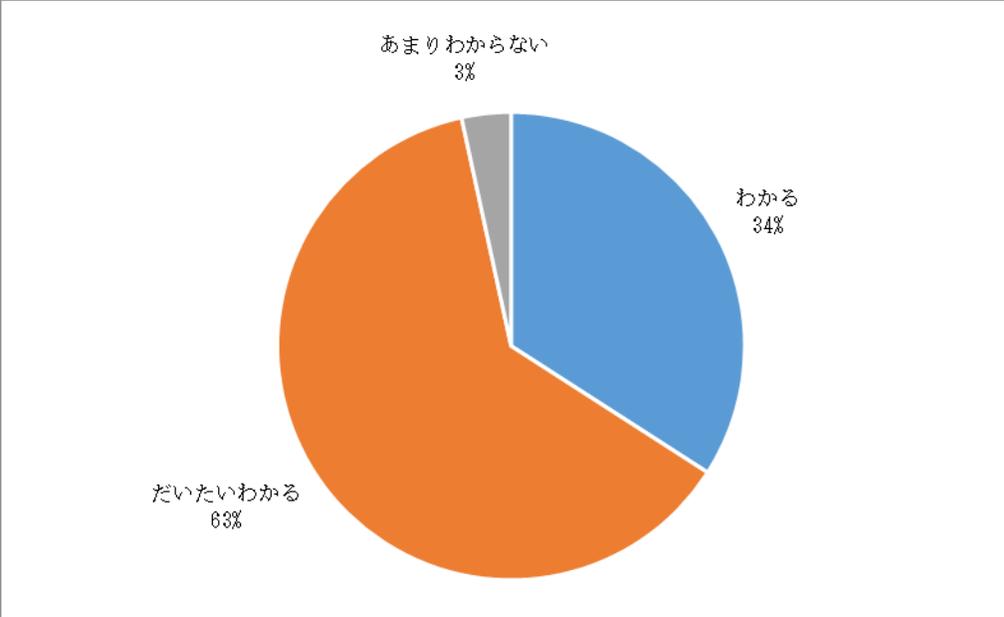
### (1) 日常会話について



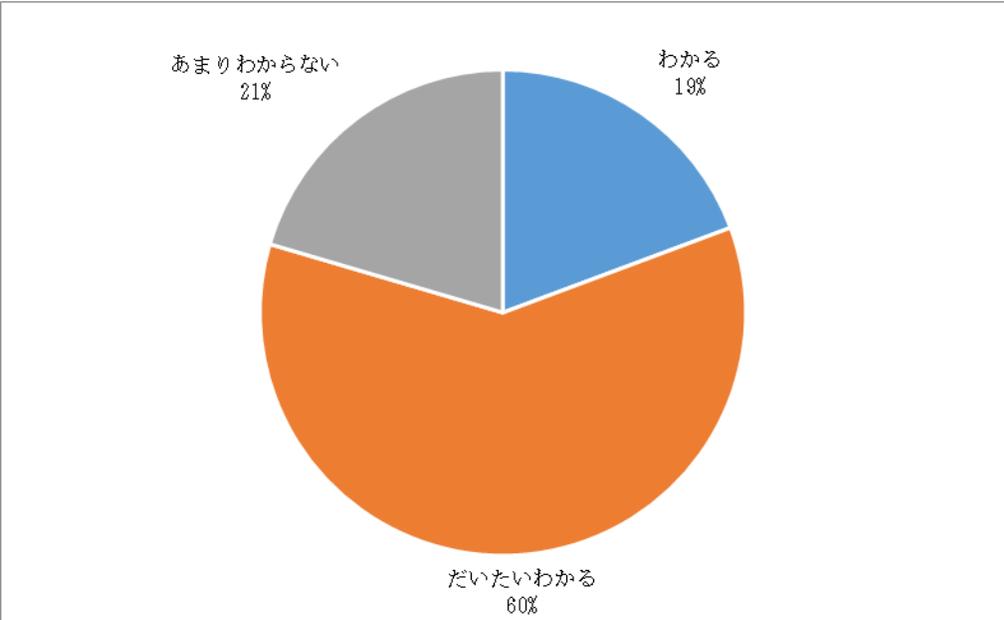
### (2) 授業を聞くことについて



(3) 本を読むことについて

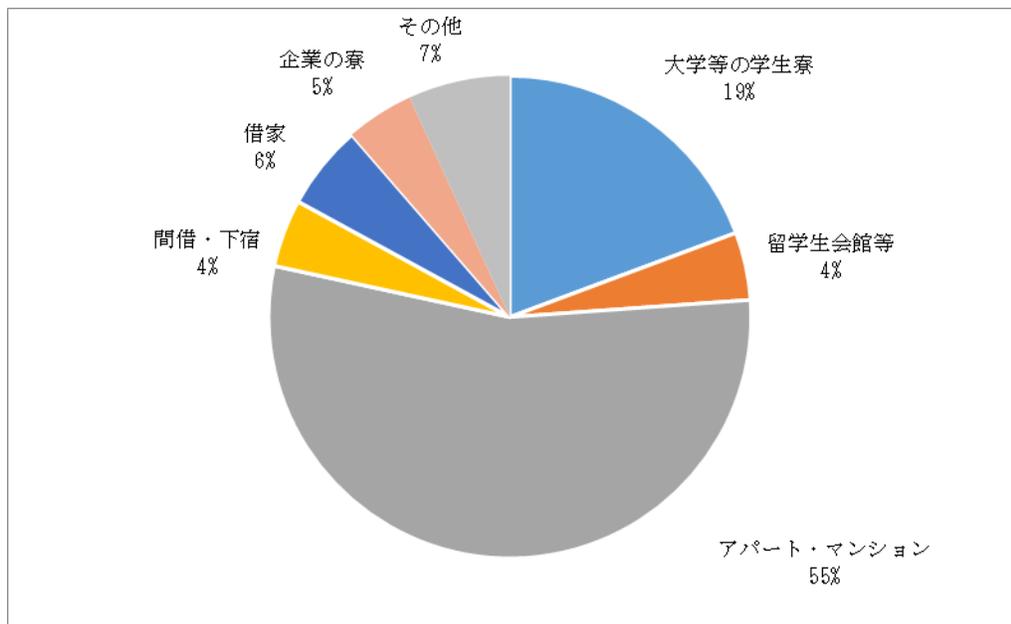


(4) 論文を書くことについて

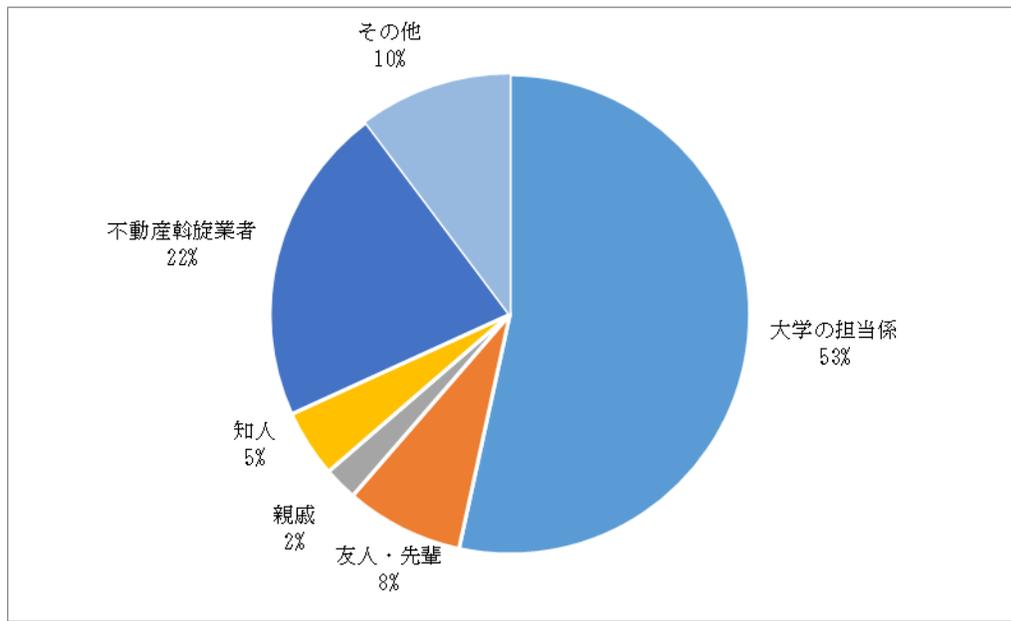


(B) 住居・通学について

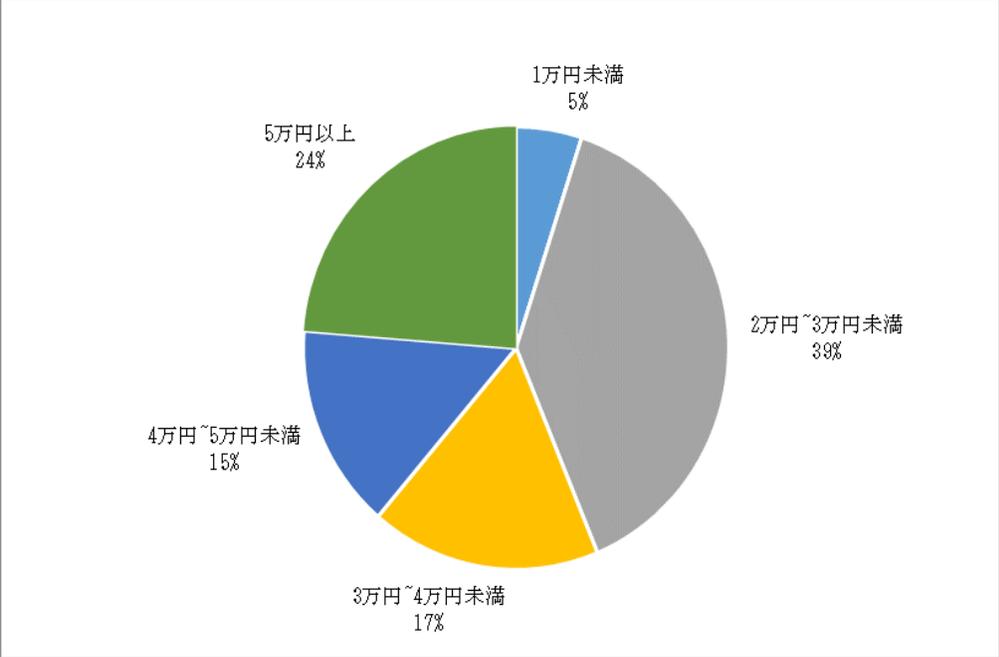
問8. 現在の住居の種別はどれですか



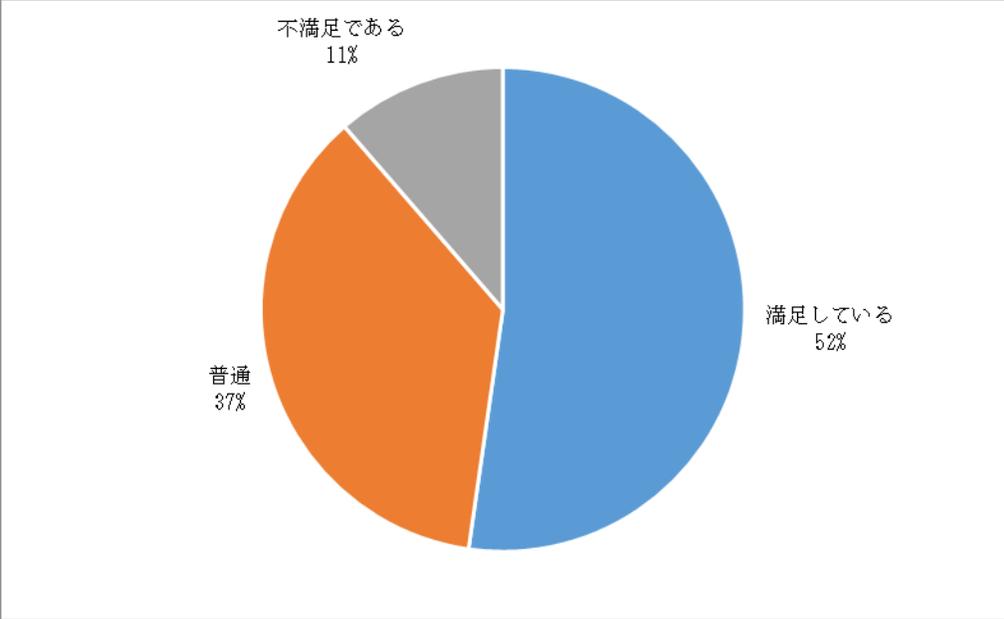
問9. 現在の住居はだれ（どこ）の紹介でみつきましたか。



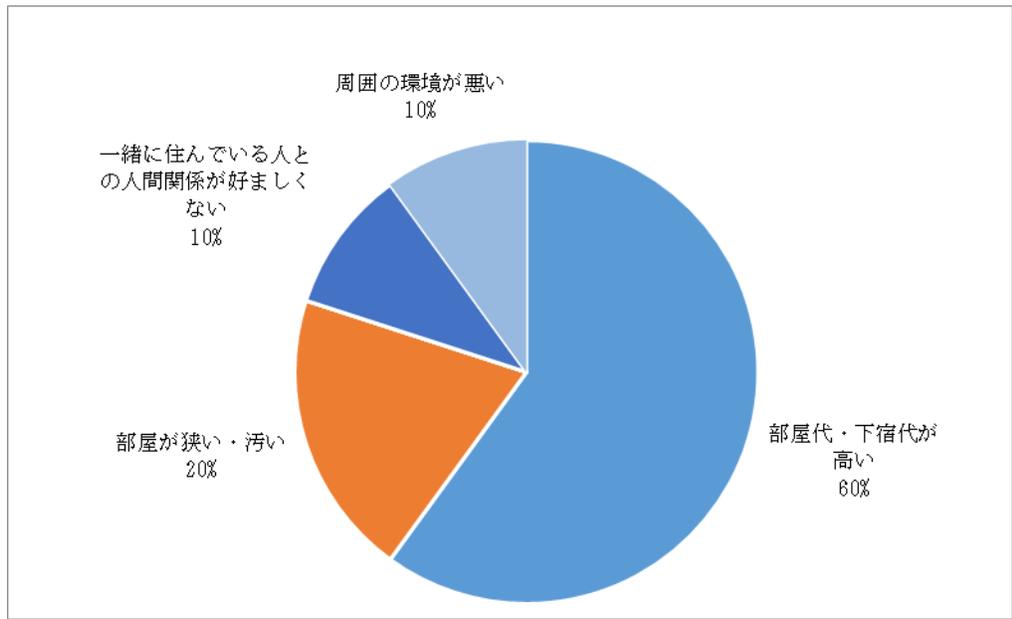
問 10. 1か月当たりの住居の家賃はいくらですか。



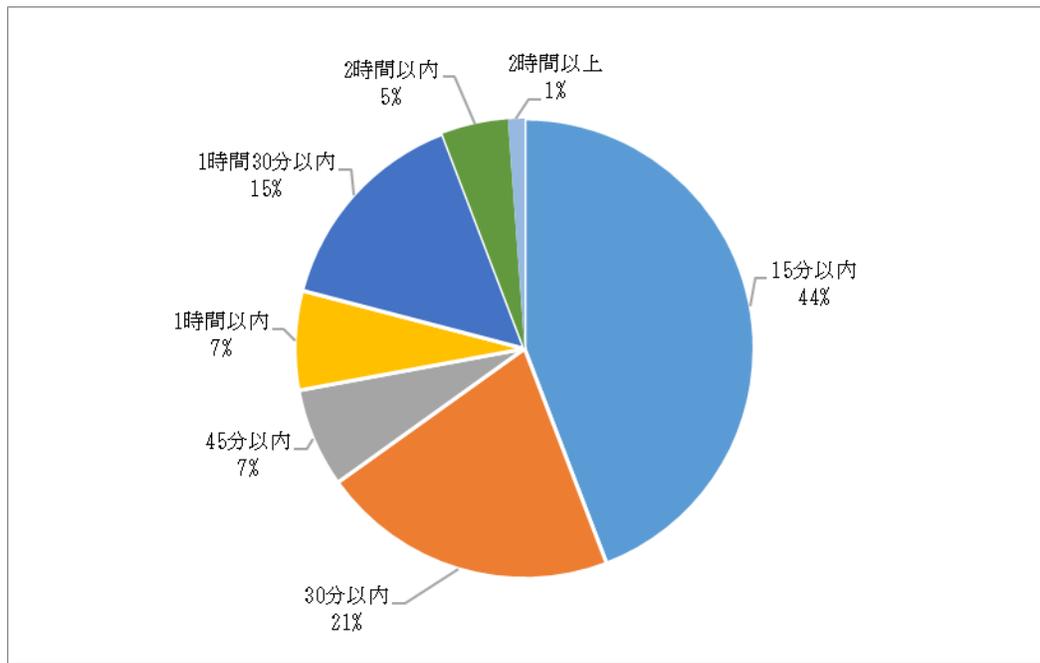
問 11. 現在の住居についてどう思いますか。



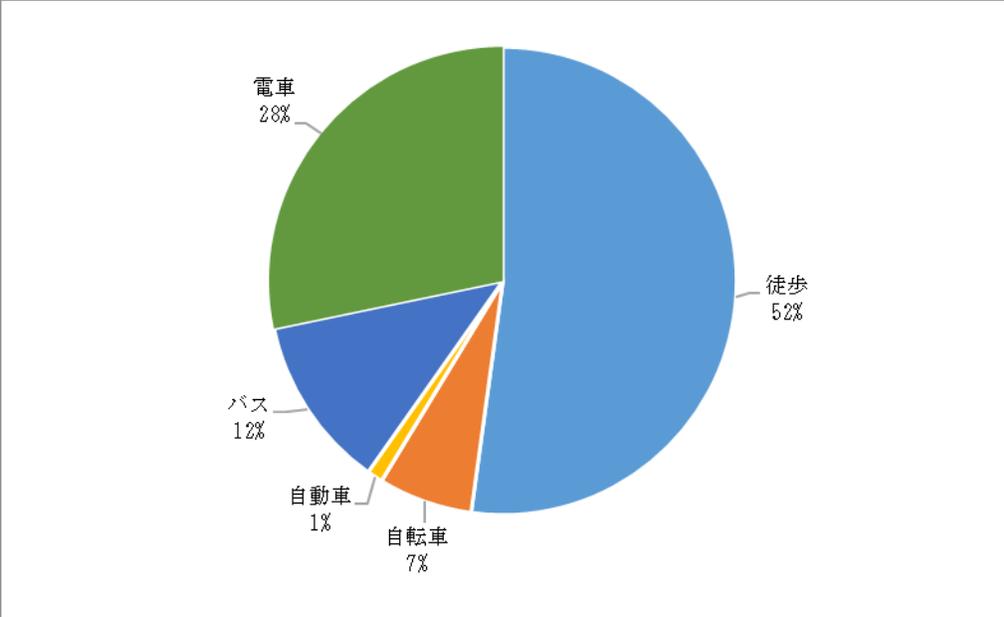
問 12. 問 1 1 で不満足であると答えた人に不満足な理由



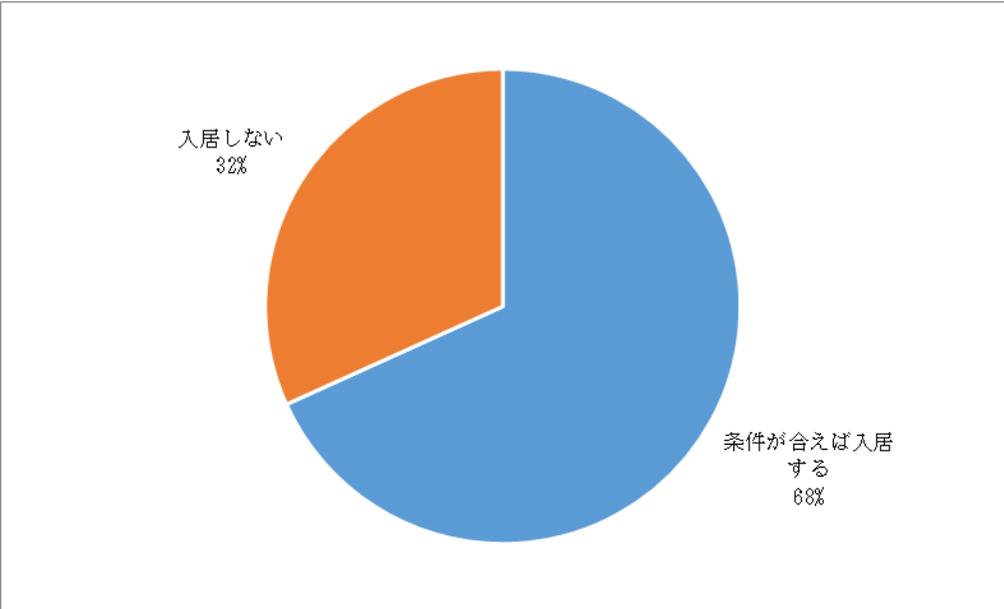
問 13. 片道の通学時間



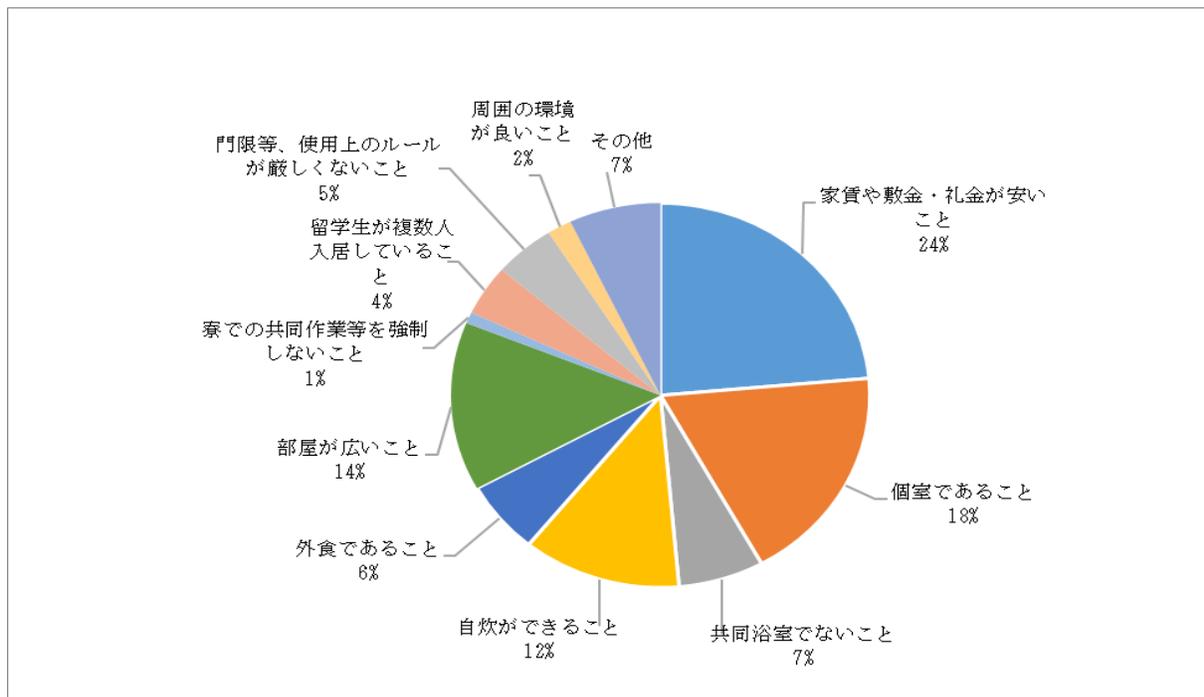
問 14. 主な通学方法はどれですか



問 15. 県内の企業の寮などに入居を希望しますか



問 16. 問 15 で入居すると答えた人でその条件とは（複数回答可）

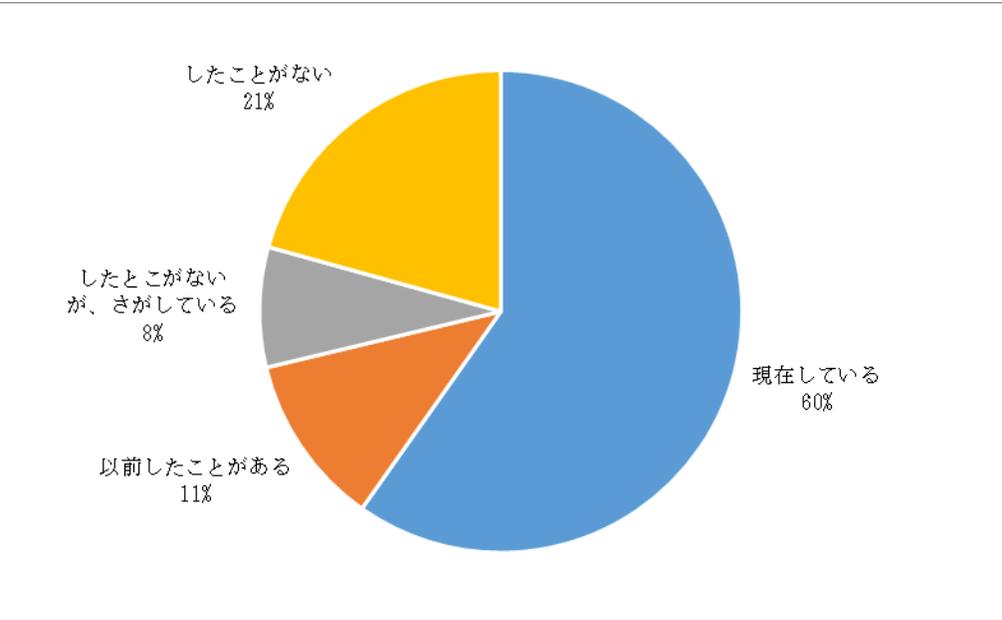


問 17. [問 15 で入居しないと答えた人に]その理由とは。

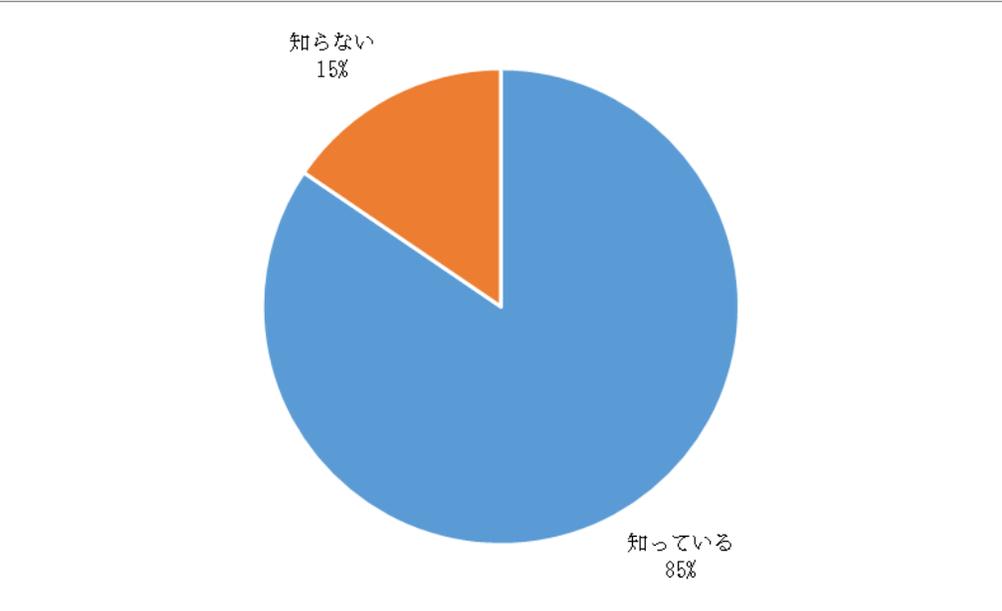
- ・引越したくない
- ・アルバイトは大阪市内だから、和歌山に住んだら、不便です
- ・交通不便と生活習慣など問題
- ・アルバイトを探しづらい
- ・今住んでいるアパートはもう十分いいと思う
- ・今の寮はよいです
- ・母国の先生が決めたことだ
- ・今のマンションが良いからだ
- ・大阪で住むの慣れている
- ・結婚しています
- ・バイト不便
- ・好きじゃない
- ・引越しは面倒
- ・大阪に住みたいです
- ・電車通学が便利です
- ・大阪に住んでいるので、和歌山県は不便
- ・バイトは少ない
- ・現在の住居に満足している
- ・今はお寺で住居しています
- ・寺生ですから、寺に住んでいる方がいいと思います
- ・めんどくさいから

C. アルバイトについて

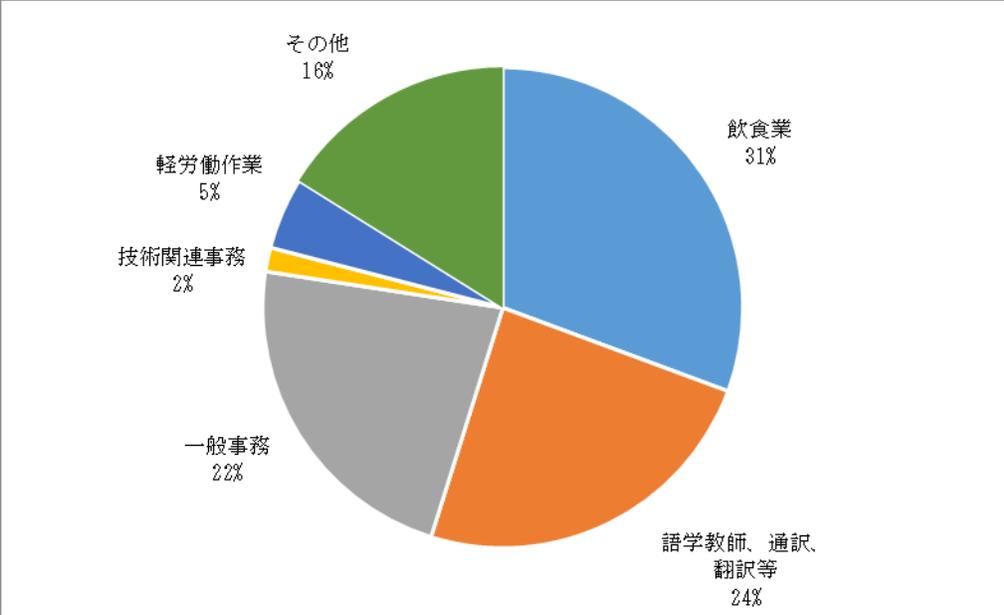
問 18. あなたはアルバイトをしていますか



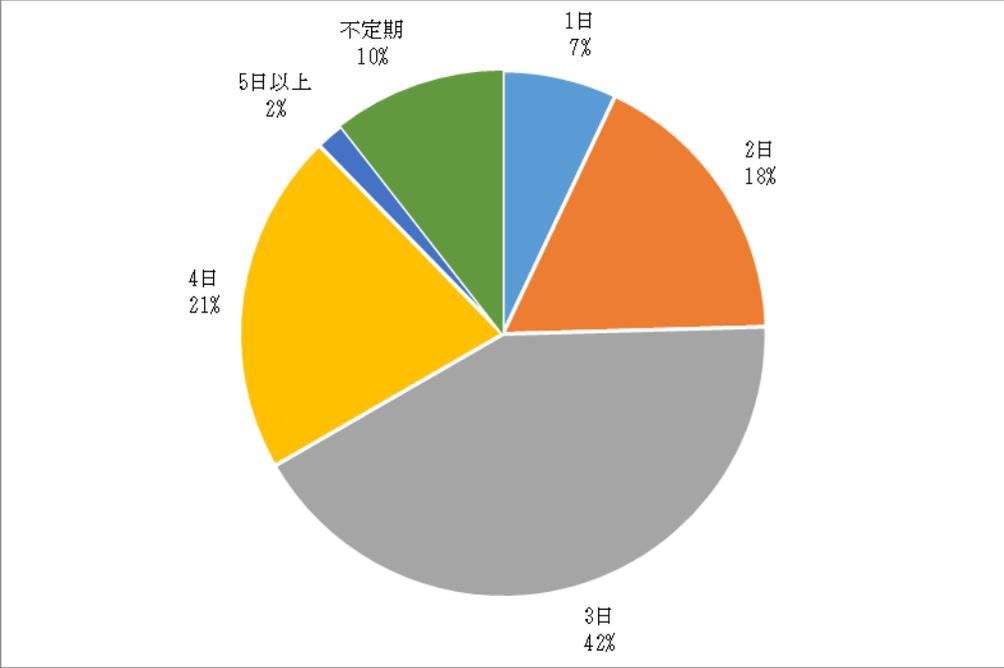
問 19. アルバイトをする時は許可がいることや、してはいけないアルバイトがあることを知っていますか。



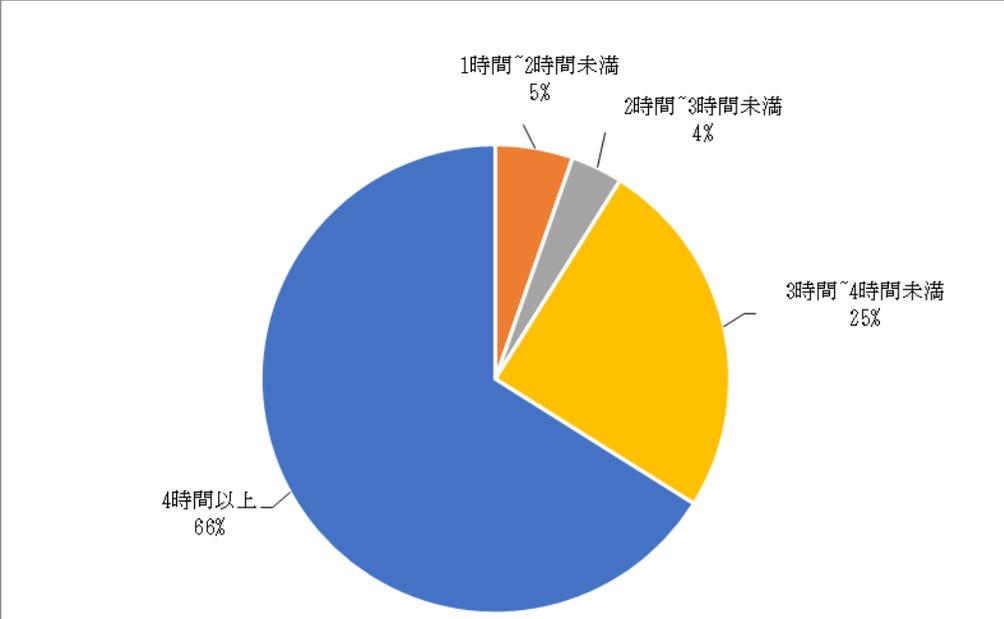
問 20. アルバイトをしている人に。どんなアルバイトですか



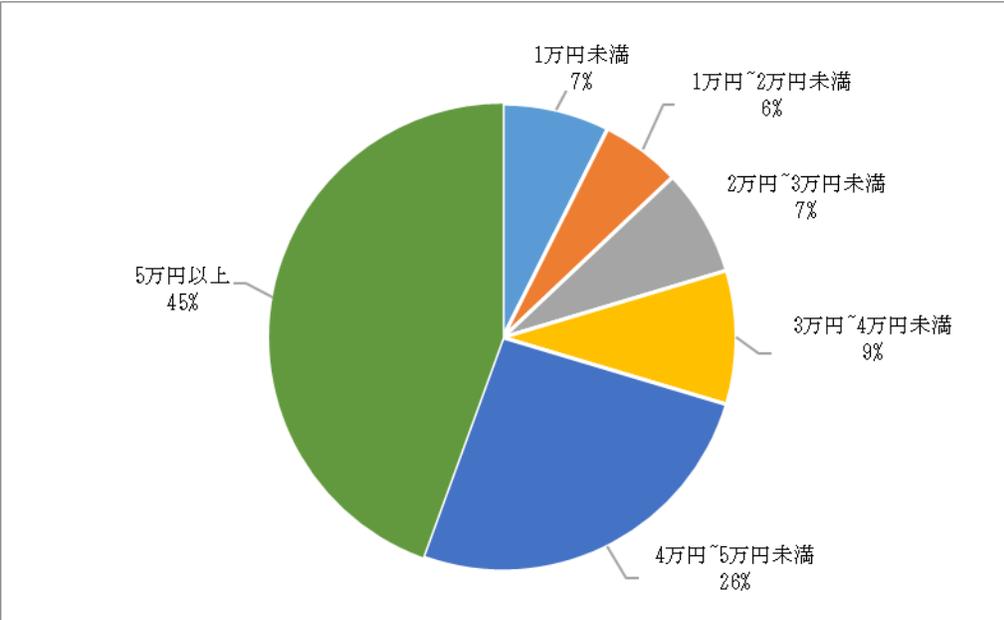
問 21. アルバイトは週何日ですか



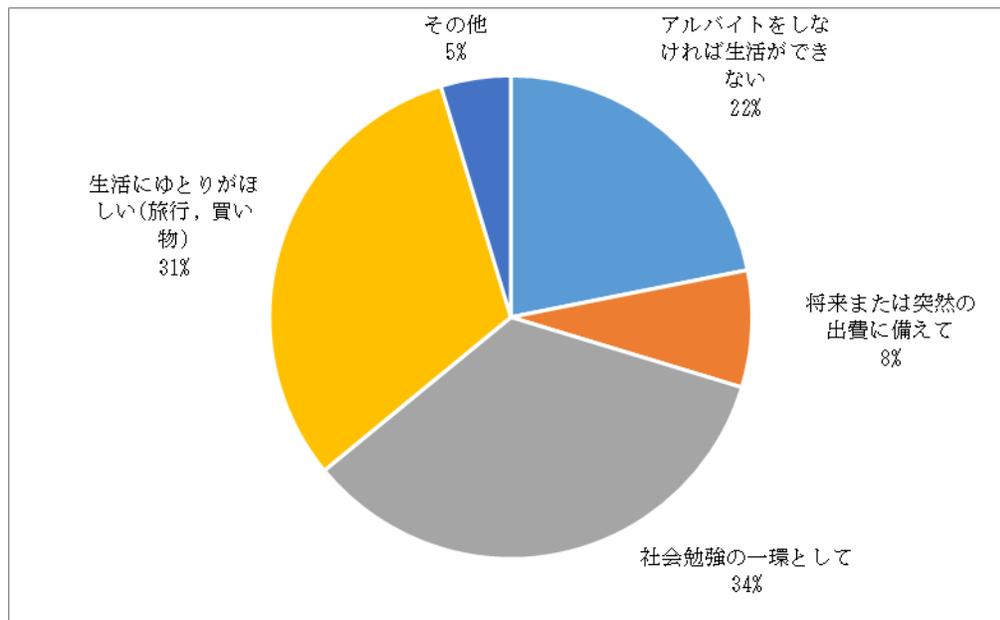
問 22. アルバイトは1日何時間ですか



問 23. 最近一か月でアルバイトで得た収入はおよそ何万円ですか



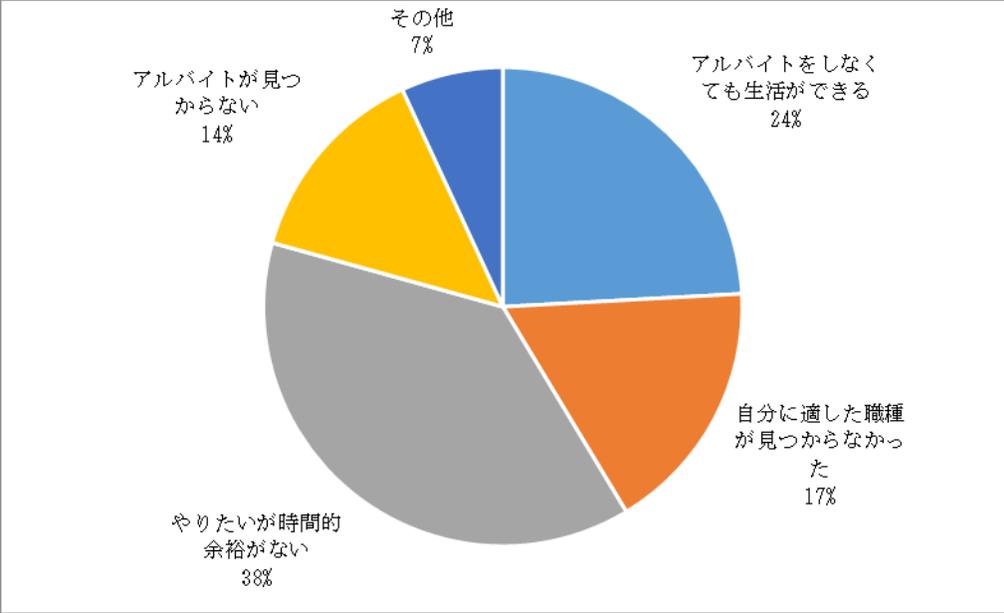
問 24. アルバイトをする理由は何ですか



問 25. アルバイトで困ったことがありましたか

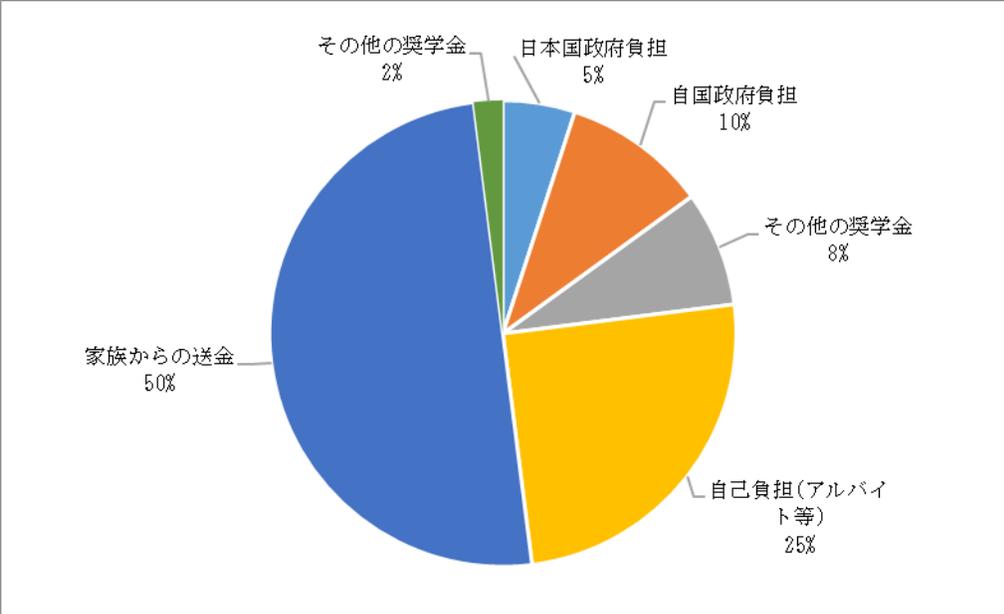
- ・コミュニケーションができない時
- ・日本人は仕事するときはまじめでついていけない時があります
- ・日本文化差異
- ・勉強する時間が減ります
- ・店員たちの話がときどきわかりません
- ・現金を数える事
- ・聞き取りが難しいです
- ・疲れました。初めてこんな仕事をしました
- ・勉強のため、ときどきアルバイトをしたくない
- ・専門用語が多い
- ・お客様がいろんな変な要求を提出するとき
- ・日本語が分からない時もある
- ・店の人との人間関係が悪化してくる
- ・方言が多いので、日常交流が少し大変だと思う
- ・アルバイトを始めた時、方言がわかりません
- ・仕事は正しくするかどうかときどき自身が持ってない
- ・留学生なので、ほかの日本人バイトが来れない時だけシフトをもらいました。

問 26. アルバイトをしていない理由は何ですか

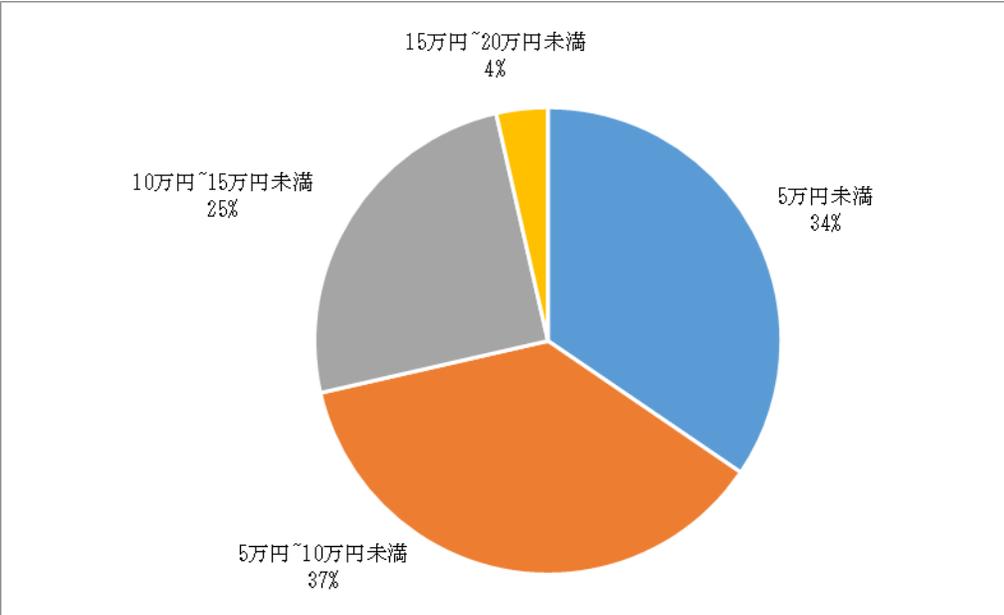


D. 生活費について

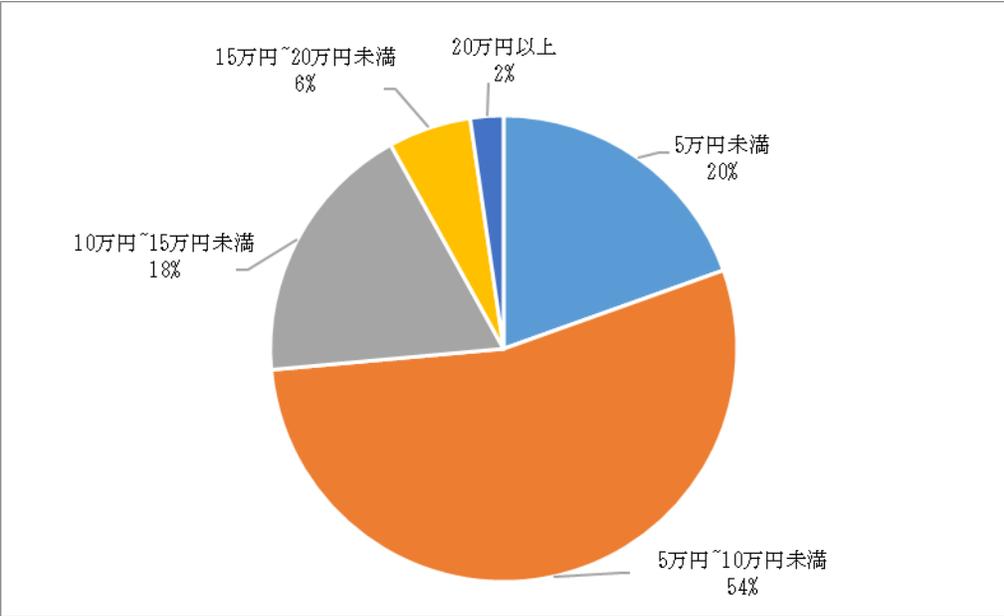
問 27. あなたの留学経費は主として何によって得ていますか



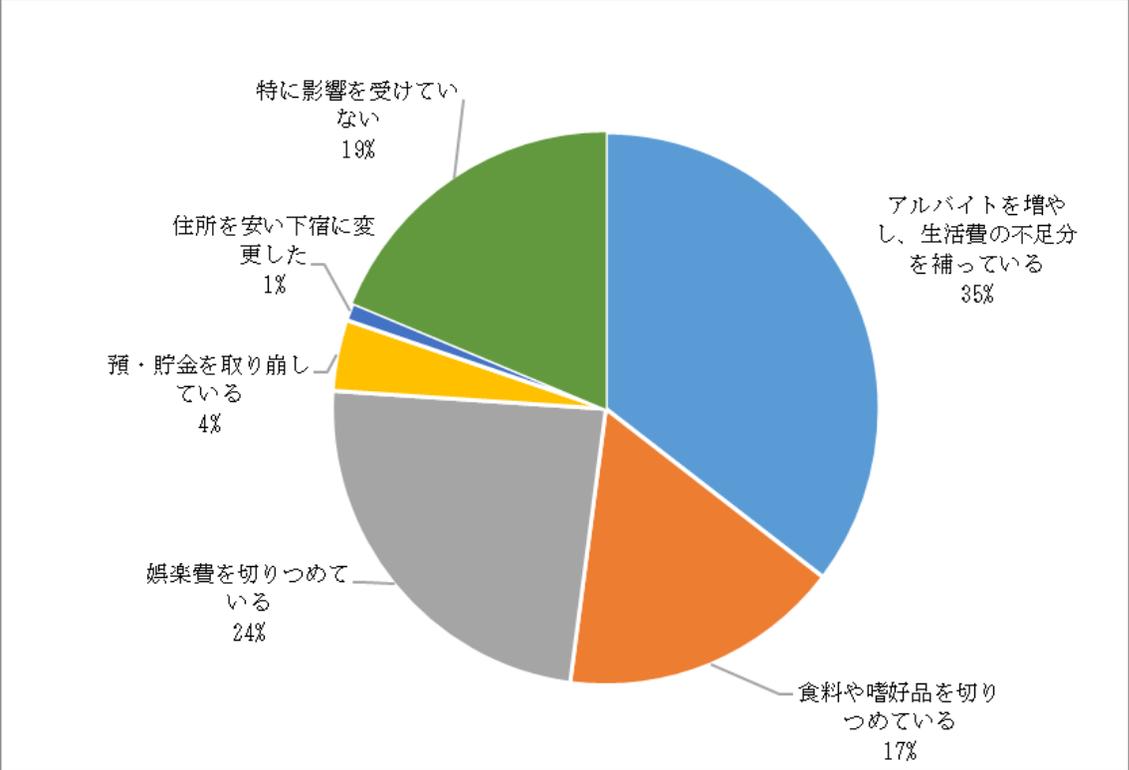
問 28. あなたの1か月の平均収入はどれくらいですか



問 29. あなたの1か月の平均支出はどれくらいですか

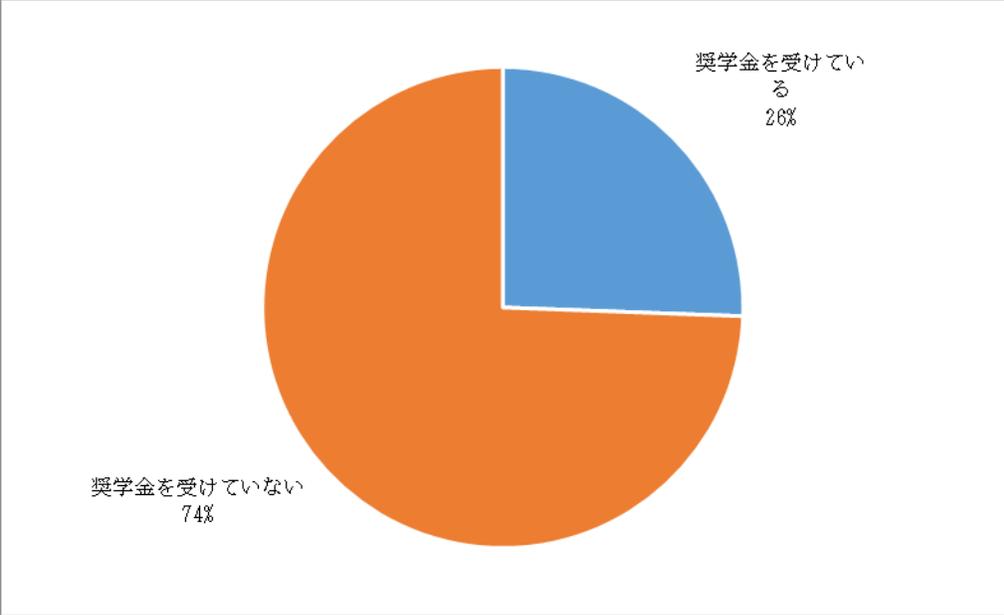


問 30. 日本での高い生活費をどのように対処していますか



E. 奨学金・授業料免除について

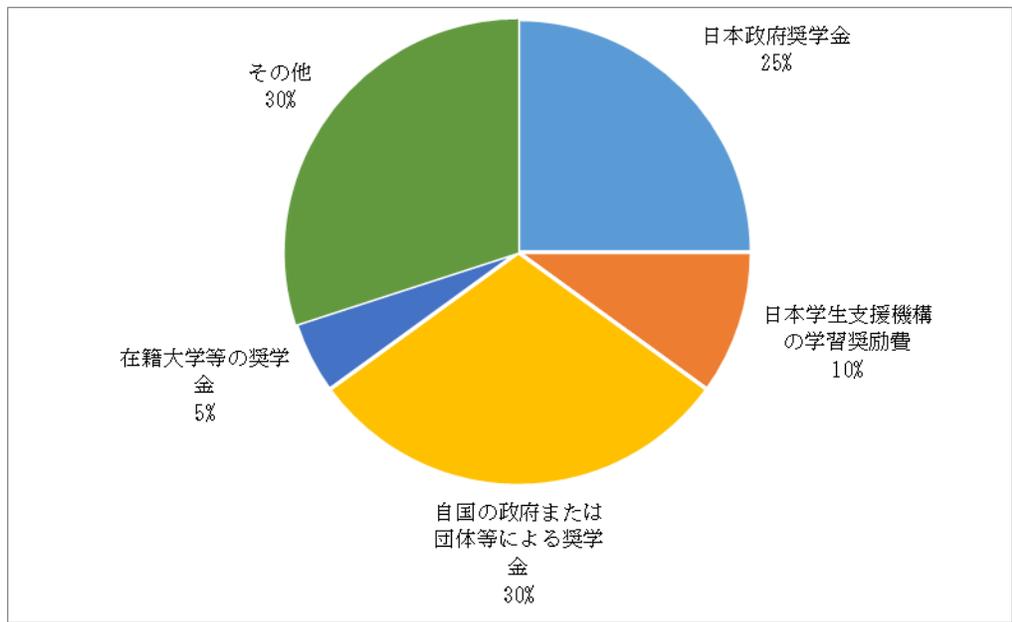
問 31. あなたは、現在奨学金をうけていますか



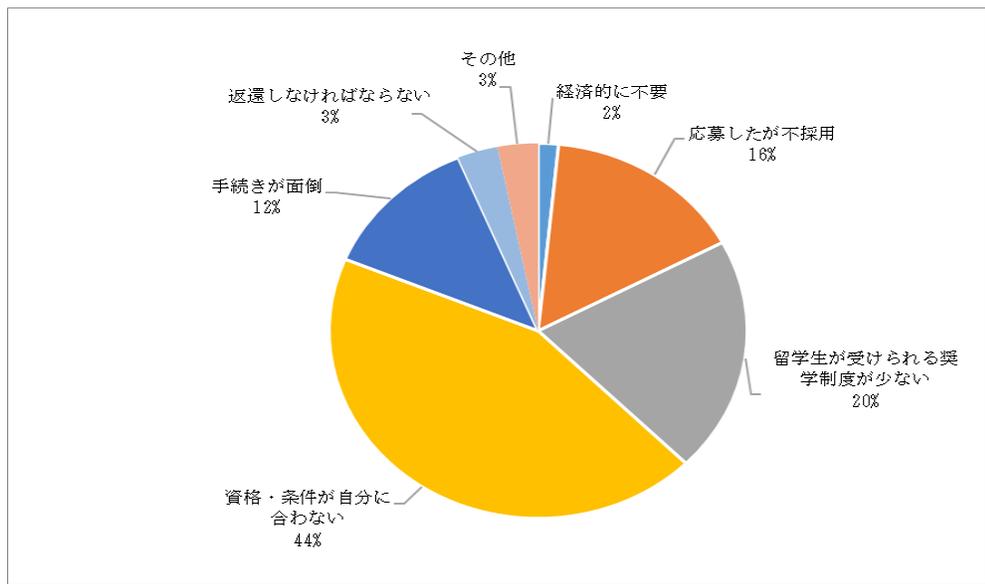
問 32. 奨学金の額は1か月いくらですか

**(平均)¥102,900**

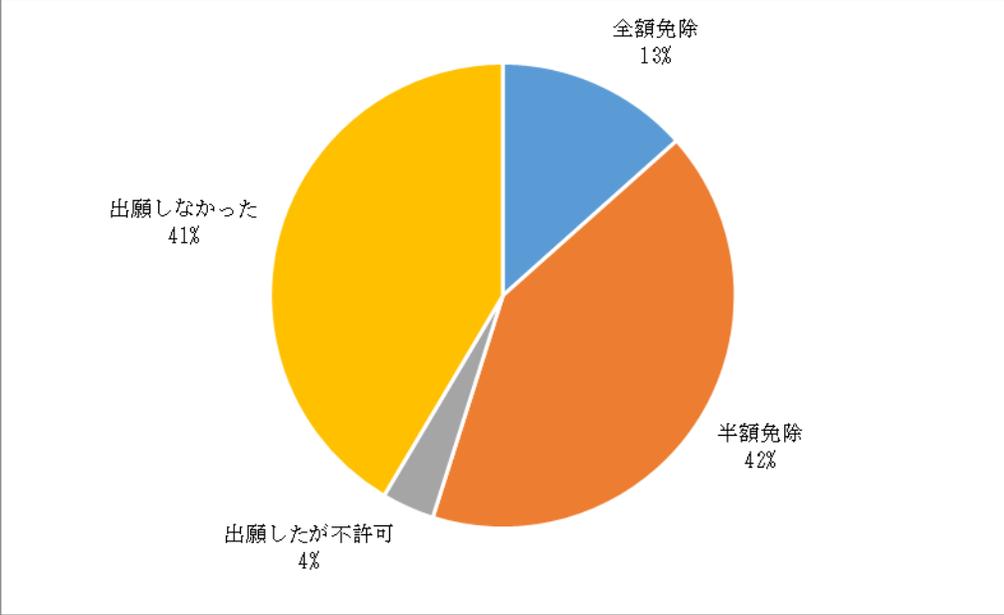
問 33. 奨学金の種類は次のどれですか。一つだけ選んでください。



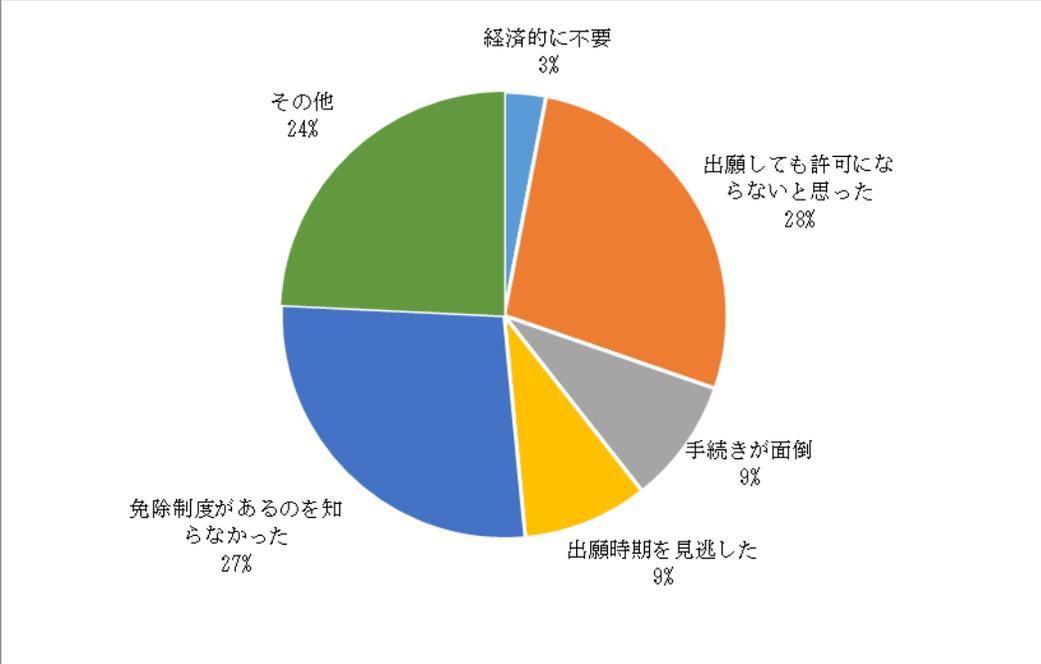
問 34. [奨学金を受けていない人に] 奨学金を受けていない理由は何ですか。一つだけ選んでください。



問 35. あなたは授業料免除（平成 3 0 年度前期分）をうけましたか。

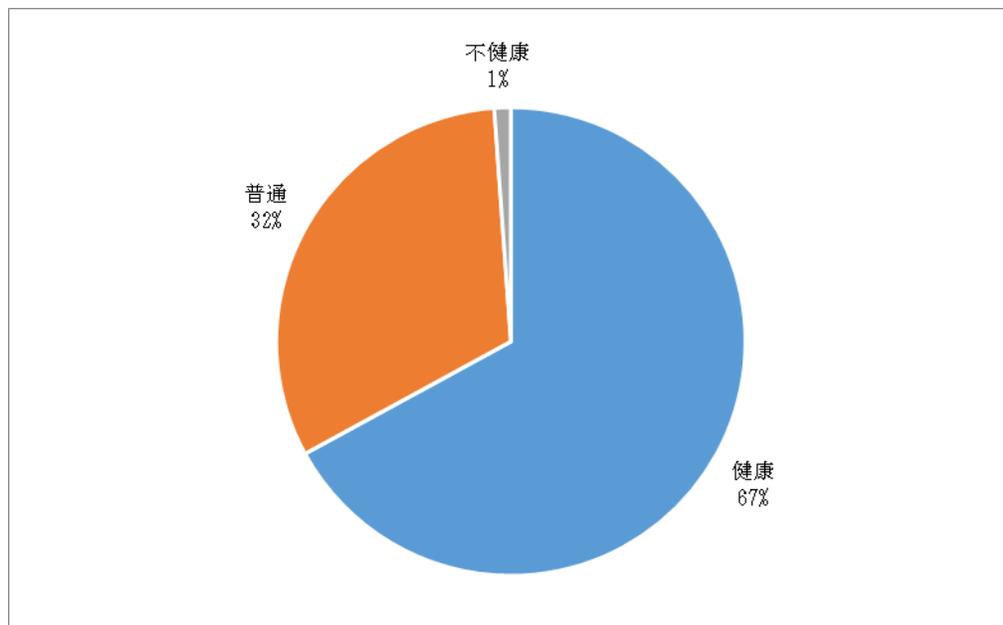


問 36. [授業料免除を出願しなかった人に] 出願しなかった理由はなんですか

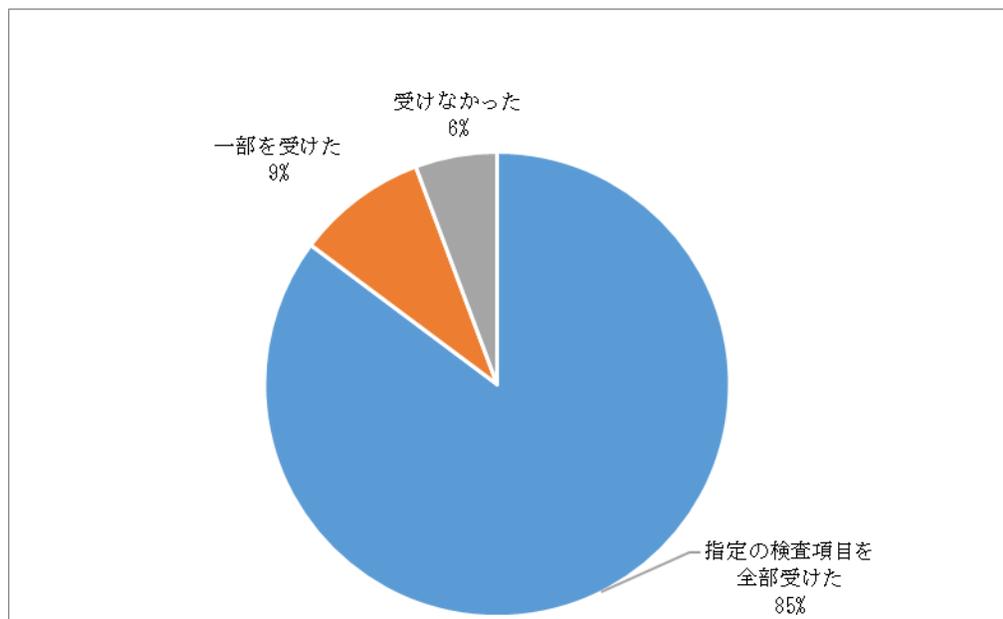


F. 健康について

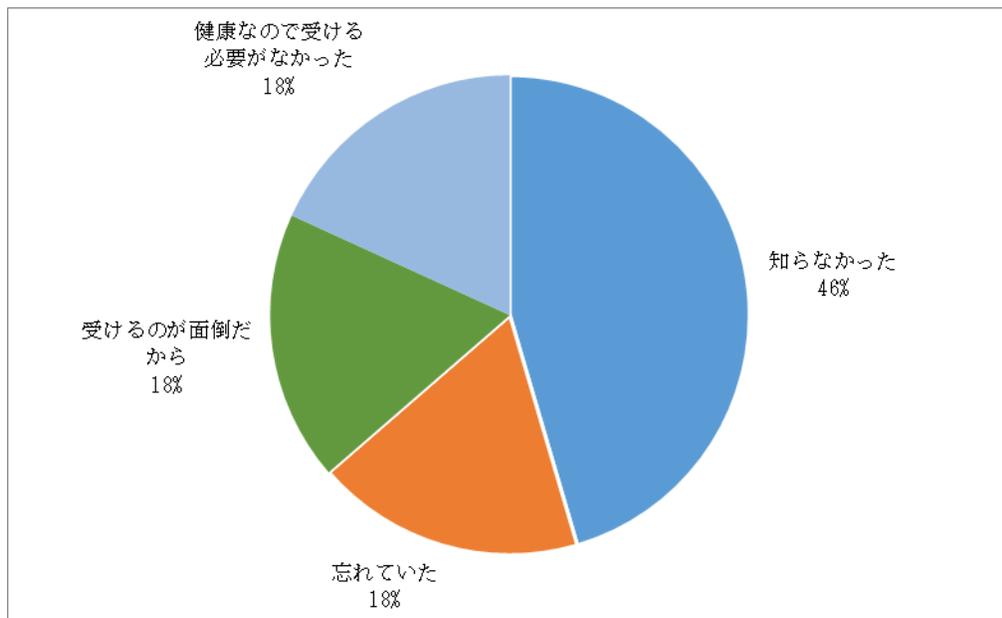
問 37. 現在、あなたの健康状態はどうですか



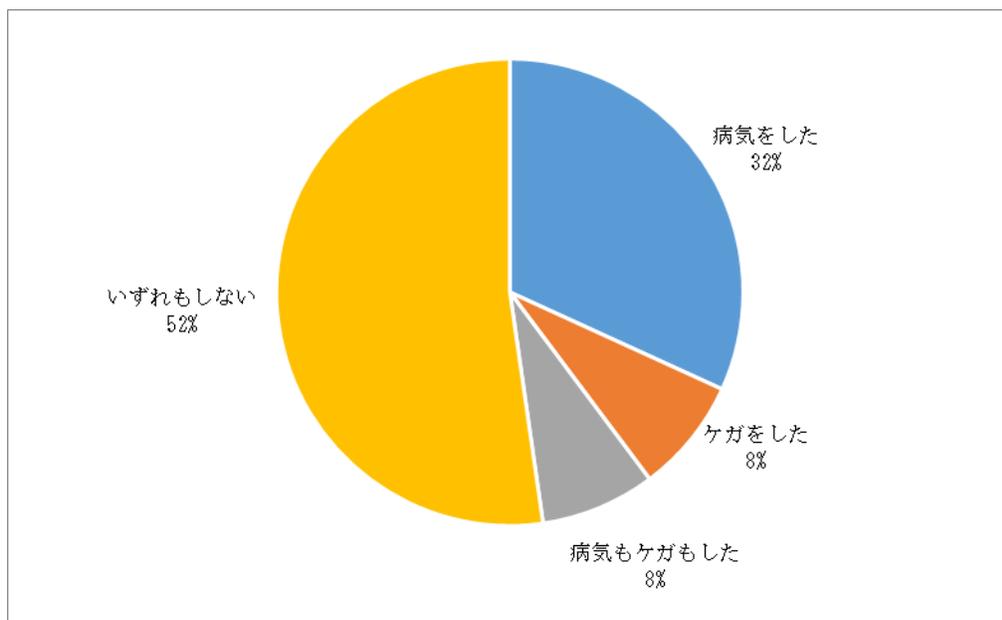
問 38. あなたは大学等が実施する 2018 度または 2019 年度の定期健康診断を受けましたか。



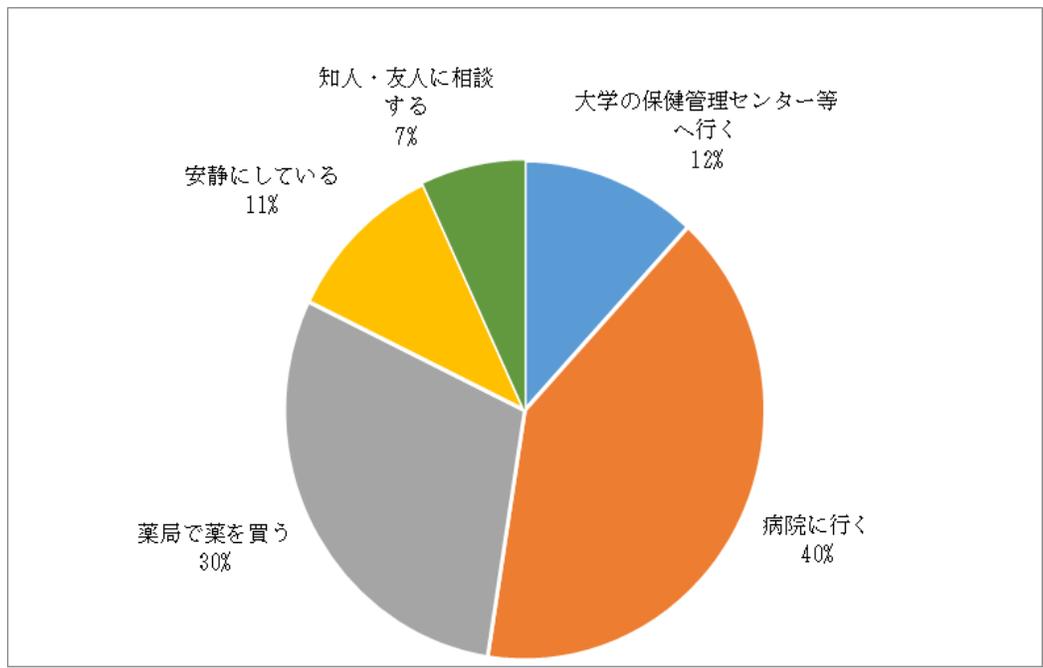
問 39. 定期健康診断を受けなかった理由はなんですか。



問 40. 過去1年間に病気やケガなどをしましたか。

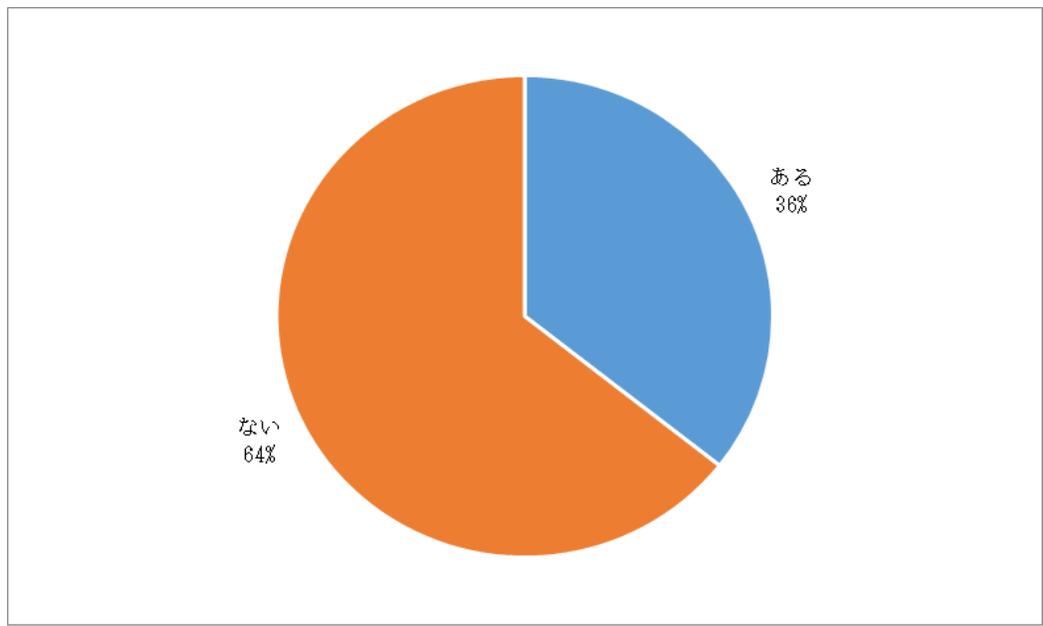


問 41. 体の具合が悪くなったとき、あなたはどのように対処しますか。

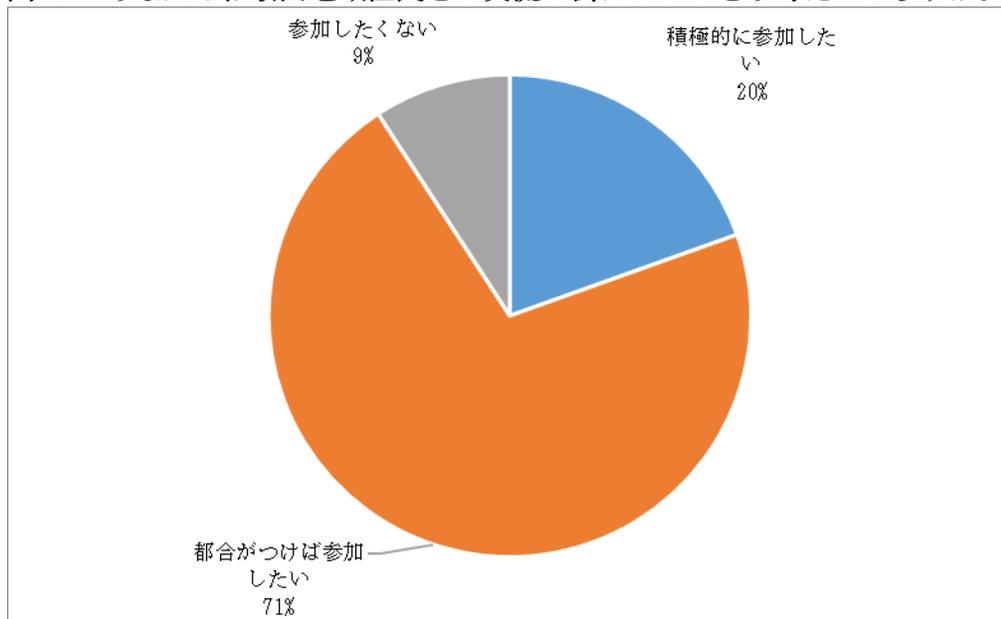


G. 和歌山地域住民との交流について

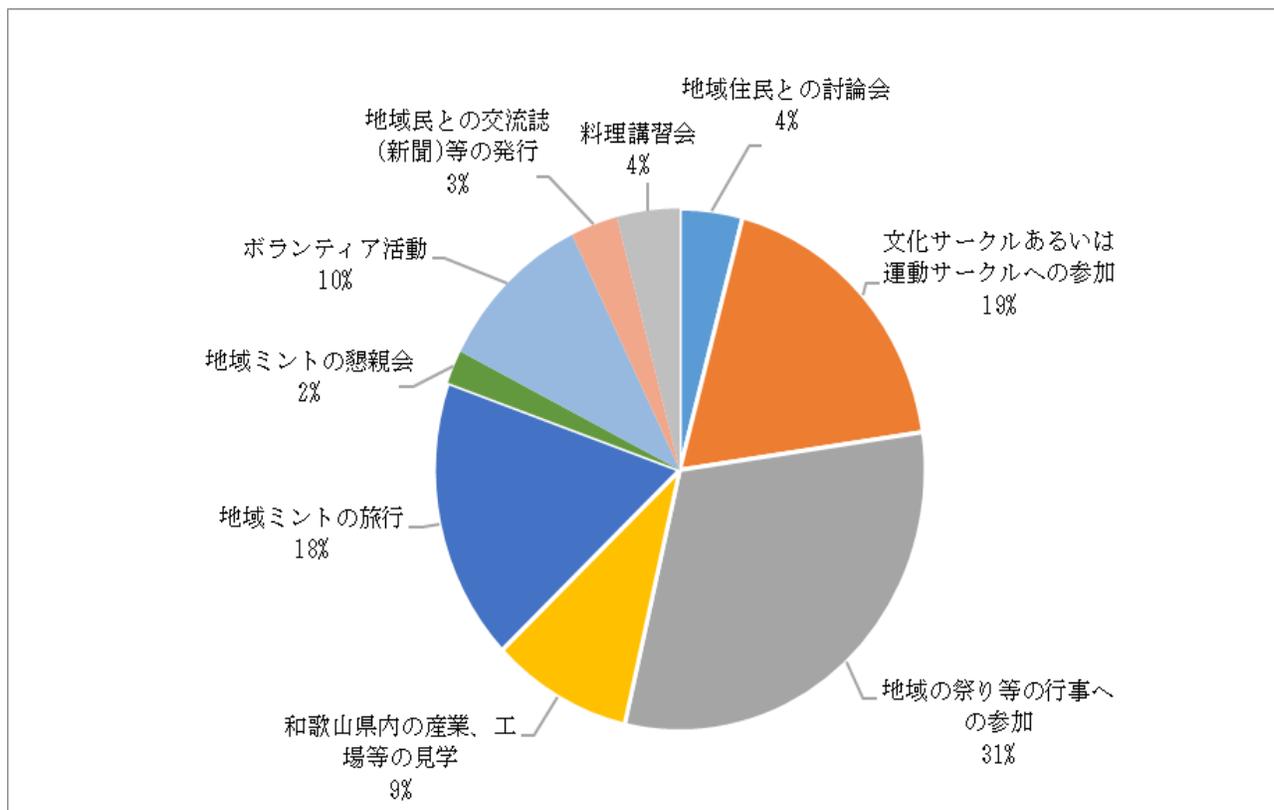
問 42. あなたは和歌山地域住民との交流の会に参加したことがありますか。



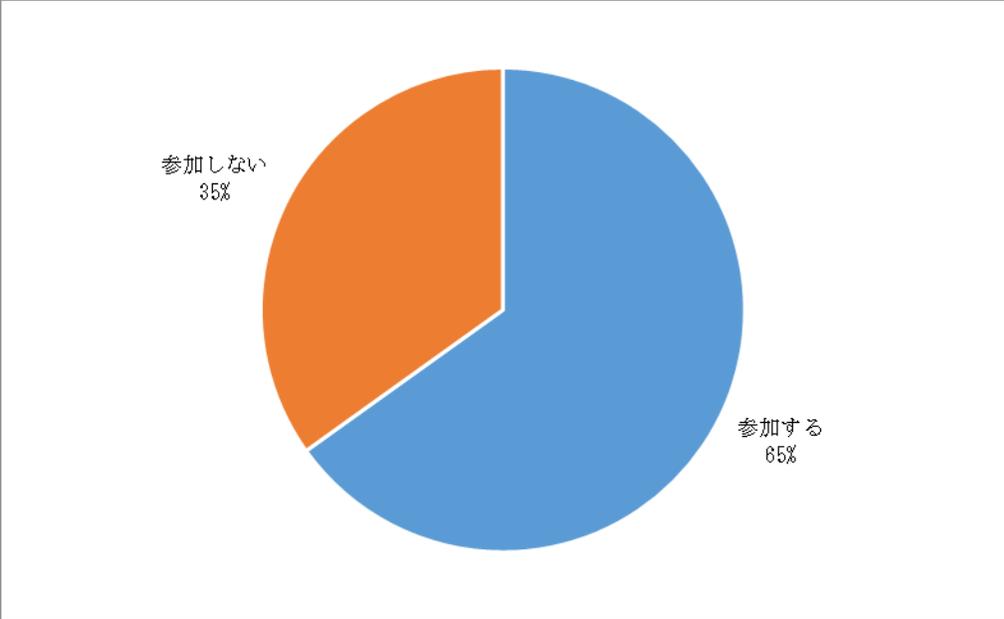
問 43. あなたは和歌山地域住民との交流の会についてどう考えていますか。



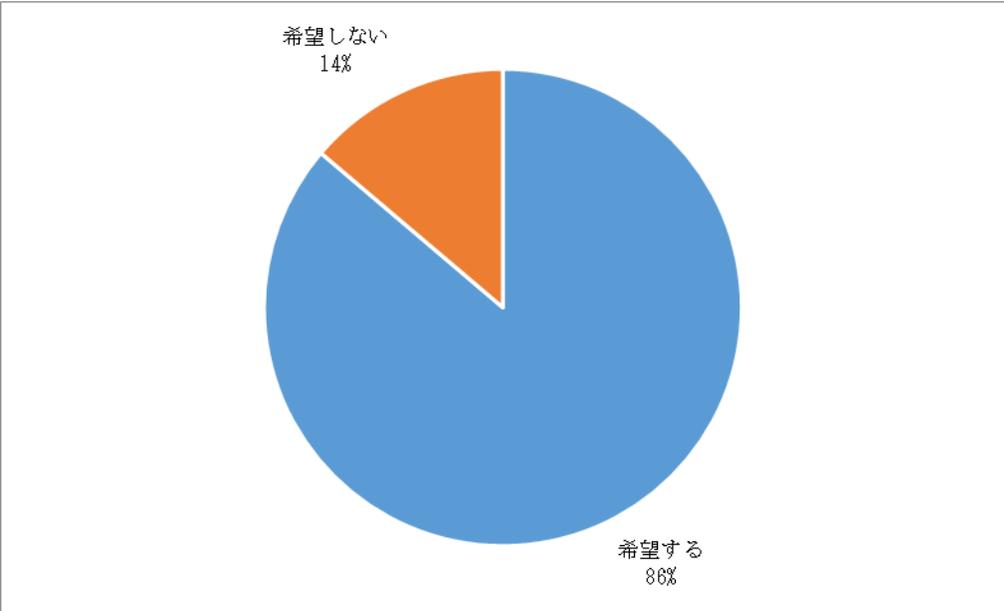
問 44. 今後どのような交流を希望しますか。一つ選んでください



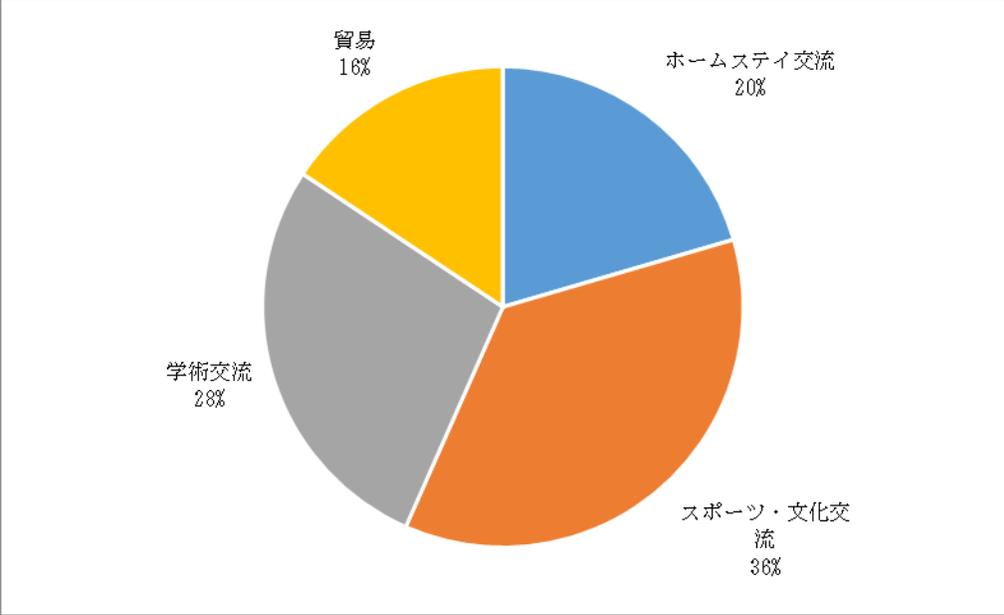
問 45. あなたはホームステイ、ホームビジットの機会があった場合参加しますか。



問 46. 帰国後の交流について希望しますか。

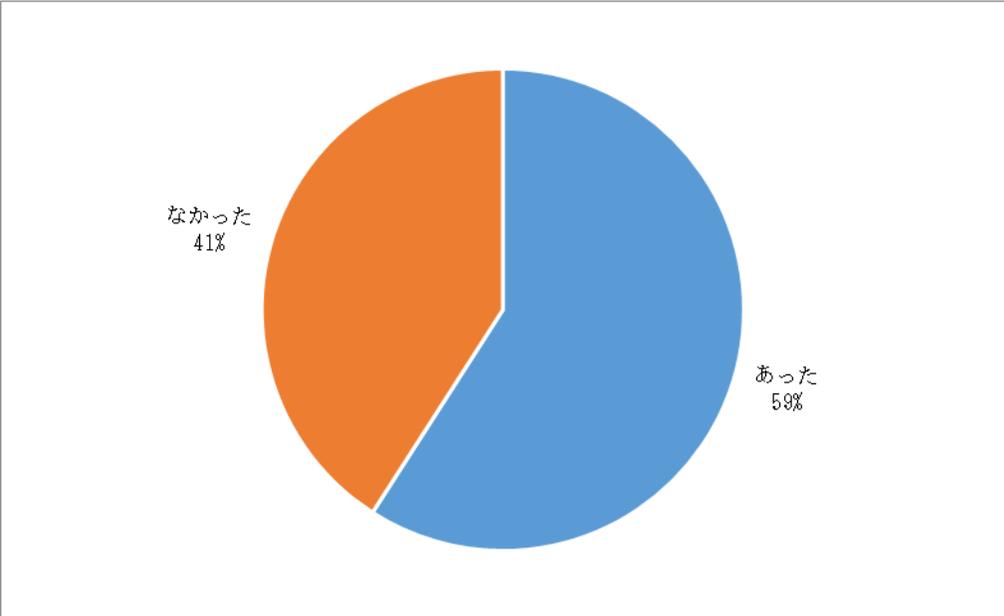


問 47. 帰国後の交流で希望すること。一つだけ選んでください。

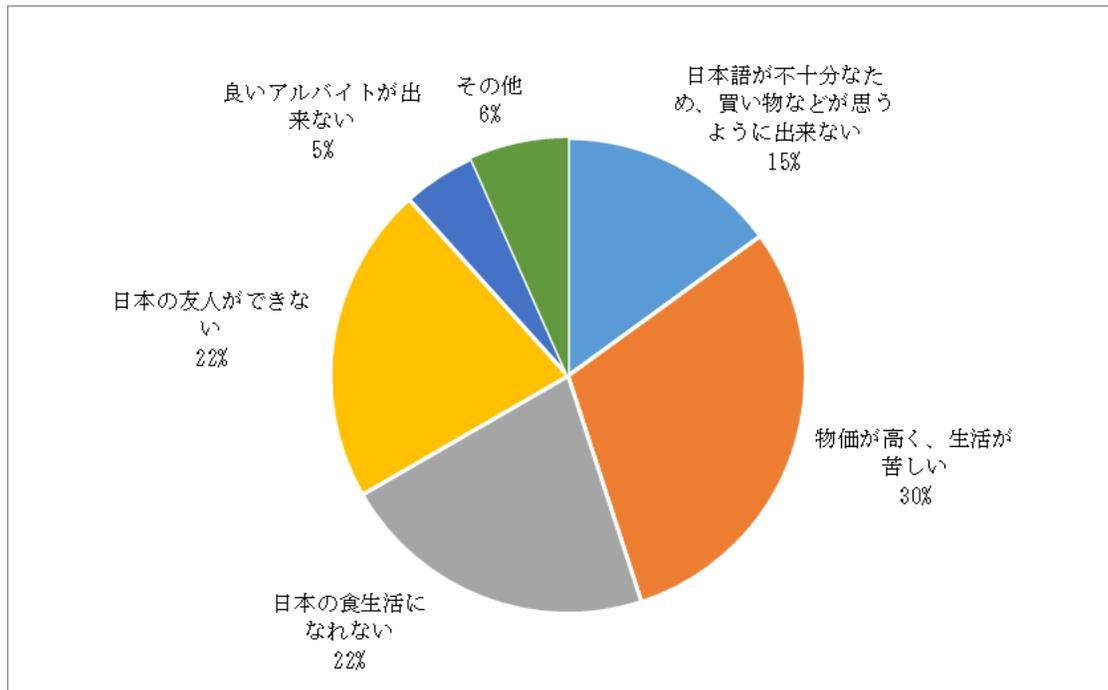


H. その他

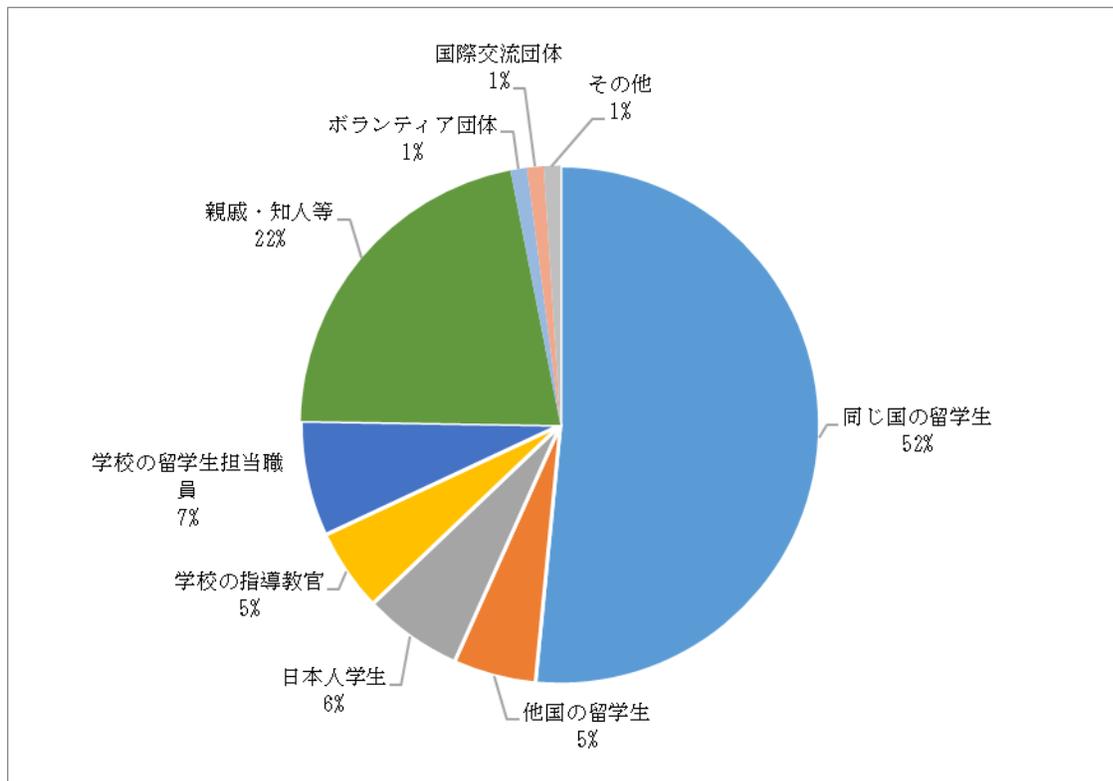
問 48. 日本で生活するうえで、困ったことがありましたか。



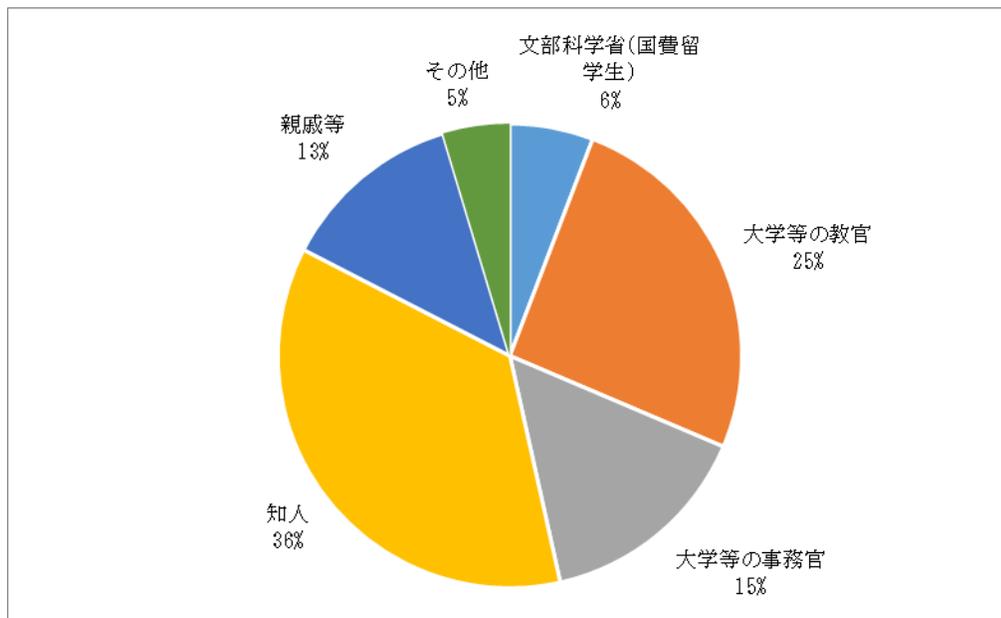
問 49. 困ったことは次のどれですか。一つだけ選んでください。



問 50. 困ったときに相談する人は、次のどなたですか。一つだけ選んでください。



問 51. あなたの大学等における身元保証人はどなたですか。



問 52. 身元保証人を見つける時に、どんな困難がありましたか。

- ・身分保証人は日本人だけできる。
- ・申し込み手続きは大変でした。
- ・連絡が難しいです。異国にいるから。
- ・責任があるから、断った例が多い。
- ・日本人あるいは日本国籍を持っていない人は身元保証人になれない。
- ・日本に長期在住な中国人もしくは日本人は身元保証人になってくれないことが多い。
- ・明確な説明が来るのがおそかった。自分で頼んでしまいました。
- ・日本人の知人がいないから。
- ・生活について相談、例えば口座の事とか、電話の事とか。
- ・お金が足りない時とか、大学等で重要な資料が必要とするときなどに身元保証人を見つける。
- ・母国にいる両親にでもいいといわれましたので、特にありません。
- ・当時、日本語はそんなにできないから、なかなか話が伝わらなかった。

## 問 53. 大学の事務サービスについて、どんなことを希望しますか。

- ・今の大学の事務サービスがいいと思う。
- ・交通費が高い
- ・研究生として、電車通学の交通費高い。できれば、通学券を申し込みたい。
- ・留学生活は楽しかった、色々な事が勉強になった。
- ・奨学金の案内を詳細に教えてほしかった。
- ・アルバイトの時給が低く、住もうと思ったときに生活費が稼げるかどうか不安だった。しかし、県外に住んでみると、通うのに不便だと感じた。大学から大阪まで、和歌山市内の通学バスがあれば良いと思う。
- ・和歌山はいなかのようで、ちょうど私の好みです。ですが、寮の近くでは「何もなくて」不便な時が良くあります。もし、寮の近くでコンビニがあれば、もっと心地の良い住む場所になると思います。
- ・私は「Activo」という webSite より、色々なボランティア活動に参加できましたが、全部大阪の方面です。和歌山の方に活動したいが、なかなかボランティア活動は見当たりません。このウェブサイトに登録されていないのせいか、ほかのウェブサイトを探して見ましたが、全然見つかりませんでした。和歌山にもボランティア活動がいっぱいあればいいなと思います。
- ・全てすごい。
- ・地元の人と交流するサービスを希望します。
- ・もっと交流することを希望します。
- ・他の日本の場所に行く機会が提供してほしい。
- ・留学生について多くの活動をしてほしい。
- ・もっとやさしくて、誠実にしてほしい。
- ・保証人のかわりに保証金などの導入を検討してほしい
- ・生活のサポートすることです。
- ・もっと交流活動をする。
- ・留学生に日本人の相手を会わせる等の交流をした方がいいと思います。
- ・留学生と日本人学生の交流会を多く行ってもらいたい。
- ・日本人の学生の交流の機会が多い方がいいと思います。
- ・帰国するときに近くの駅まで送ってほしいです。なぜなら、重い荷物を持って帰るから、バスを乗ることに不安があります。
- ・アルバイトの紹介やアドバイスをしてもらえればうれしいです
- ・満足している。
- ・留学生のために、様々な問題時に、詳しく説明してほしい。

**問 54. 留学生として、地域や大学にどんなことを望みますか。また、和歌山に滞在しての感想、意見を自由に記入してください。**

- ・和歌山はいいところだと思います。環境がいいし、空気もきれいだし。和歌山であった人はいい人ばかりです。地域や大学にどんなことを望むものはあまりないです。
- ・和歌山で、交通はちょっと不便と思う。和歌山港、白浜などへいくことは一日中で電車、バスの回数は少ないと思う。
- ・和歌山県は緑が多いところです。大好きです。海もきれいです。母国の観光者にいろいろ紹介したいと思っています。
- ・和歌山はいいところです。
- ・大学院生だから、研究室の設備（コンピューター、プリンター等）を増やした方がいいと思います。また食堂の料理の種類も増やした方がいいと考えています。
- ・環境はきれいで、中心部より遠く、住みやすいところと思う。和歌山大学前のバス（南海和歌山大学前駅行き）の時刻はよく遅れており、10分以内だったら待ってもいいが、よく20分以上遅れてくる事がすごく困る。遅れる時間が少なくなればよかったと思う。
- ・第一、日本と中国違う点が多いと思う。例えば、日本における高級商場は集中的に大阪、東京などの大都市に存在しており、和歌山などの地域にはあまりない。第二、人の生活習慣、人の差別が大きすぎる。和歌山は夜八時からどこでも人がいないと思う。大阪は全然違う。第三、和歌山大学は国立大学である。しかし学校の実力と名気は普通と思う。第四、交通は非常に不変と思う。
- ・家賃が安くなってほしい
- ・費用が安い方がいいと思う。和歌山の環境がいいし、でも、ほかの場所より日本人と交流する機会は少ない。
- ・中国から留学生として、国際関係や歴史問題は抜きにして、和歌山の事が大好きです。アルバイト時、お客さまは私が中国人だと知ったあと「頑張って」と言いました。楽しかったです。
- ・ちょっと不便ですけど、いいです。
- ・和歌山は山が多いので、空気が新鮮だけれども、交通が少し不便だと思います。しかし、のんびりする生活をして、うれしかったです。
- ・和歌山は田舎だけど、物価や家賃は高すぎる。ここでの生活は私の思ったのと大きな差があって、あまりうれしくない。今度は絶対に大都市へ行きます。
- ・大学に適応するために、日本人学生が留学生を助けるプログラムがあってほしい。
- ・日本人との交流や日本文化の体験は未だに少ないです。日本人ともっと交流したり、日本人の友達を作ったりしたいが、異国なので障がいがあると思います。暇になったら和歌山での生活は本当のんびりと思います。人も優しいが、交流するとき何を言うべきか分からなくて困っています。

・日本文化についての活動がほしいです。和歌山はすごく静かで、生活しやすいところです。これまでの留学生活は本当に楽しかったです。

・和歌山は自然が多く、気候も良く、ベトナムの北部出身である自分にとってもふさわしい。大学のほうもサービスが良く、先生も困ったことについて詳しくゆっくり説明してくれて、勉強にはほとんど問題がないともいえる。このような環境で勉強できて良かった。できれば、自分の国の優秀な学生にもチャンスあげて、留学できるとうれしい。

・交通はちょっと不便だと思います

・交通不便や高すぎる家賃など困ったことがある。その一方で、自然環境に囲まれて、リラックスできる。

・美しいからこそこの和歌山に留学している。小さな美しさは和歌山の魅力である。これからも和歌山の美しいところを見つけて、国内の友達に紹介したり、和歌山を宣伝する。

・和歌山は人が優しくてしずかな町ですが、経済は発展しにくいと思っています。

・環境がいいし、人々も優しいし、とてもいいところだと思う。

・いい田舎でした！ありがとうございます！

・和歌山は本当にいいところだと思います。環境もいいし、人々もやさしいです。和歌山で住んでいたこの7か月はとても楽しかったです。意見といえば、今、和歌山にフリーの体育施設が少ないと思います。自分がスポーツをしたいとき、体育館に行かなければならないそうです。でも、体育館の料金も高いし、個人的な申し込みも受けないので、面倒くさいと思います。なので、いろいろな便利なフリーの体育施設を建てたら、すごくいいと思います。

・もう三年間日本に住んでいた私は今日本人の学生達と楽しみにしてきます。できれば、一つのことだけを望みたいと思います。それは、来年（令和二年）の授業料免除がなくなってしまったんです。毎年全額か半額免除が受けていたんですけど、来年から、留学生だったらそういう免除が受け入れることができないという学生センターから聞きました。生活費がちょっと困ると思います。留学生としては、もちろんバイトもしていましたが、今後稼げるかどうか全然わかりません。ですから、少なくとも支援してくれたら心から本当に嬉しくて、有難いという気持ちを持っています。

・日本文化を体験し、日本語能力を向上させようと思います。

・地域交流活動が多くなることを願っています。意見はありません。和歌山はきれいなところですね。

・すべてが良いです。素晴らしい時間をすごしている。

・地域や大学でのイベントはもっと留学生とコラボしてほしいです。例えば、運動会を行うこと。言葉的にはなんとなく通じられない時があるので、それより身体のコミュニケーションですべての感情が動作で表せる。自分は和歌山にほぼ二年間に住んでいる。地域の生活リズムは大阪より早くなく、ゆっくりしているのは、自らの相性とあっている。そして時々市内から離れて、岩手市とか御坊市というような田舎の場所に行ったことがある。そっちは農家は多くて、農産物が豊富にあって、これは僕の故郷を思い出した。農村の雰囲気と似ているのだ。だから、和歌山に暮らしていると、心から落

ち着いて生きていける。

・留学生のために、一人のパートナーを見つけてもらいたいです。留学生は初めて日本に来た時、いろいろなれないかもしれないから、そんな人があれば、絶対に助かると思います。それに、お互いに言語の勉強とか異文化の交流とか、進めることができるはずです。

・和歌山の物価が高い、時給が低い、なぜ？和歌山人は外国人と交流することはあまりしたくないと感じた。

・中国より交通は不便です。料理もおいしくないと思います。

・見学旅行のような活動がおもしろくて、また参加したいんです。そして食堂は他の国の料理を作ることを望みます。

・和歌山に着いたとき、いろいろお世話になっておりました。和大的先生は私たちの到着した日、わざわざグリーンプラネットハウスに行ってくれて、助けてくれました。楊先生のおかげで、私たちは順調に手続きをしました。私がバイトをしているお店でもいつも外国人として周りにお世話になっております。一緒にバイトをする和大生にたくさん手伝ってもらいました。本当にありがとうございます。

・いろいろなところへ行き、日本文化についてもっと体験したいと思います。

・生活のサポート言葉の手助けをきちんとしてほしいです。和歌山県は自然が豊かで住みやすい所です。

・もともとは僕は関西に住みたいから、和歌山に滞在することにとてもうれしいです。毎日の気候もいいと思います。ただ、バスのサービスのようものは不十分だと思います。

・バスなどの交通機関があまり便利ではないと思うので、対策を考えて欲しい。また、和歌山高専から都市（御坊市）までの距離は結構遠いので、高専に近くスーパーなどがあれば良いと思います。日本の生活習慣に溶け込むように、留学生用ホームステイ（短期）プログラムがあった方がよいと思います。二年前に初めて来日した時に、自分の日本語能力がやや良くなかったが、和歌山人は本当に新設したので、思ったよりも日本の生活に早く慣れてきました。

・留学生として、地域にもっと多い飲食店を望みます。それだけでなく、寮の近くに食料品店も望みます。そして、バスの時間が少ないので、公共交通機関は増やした方がよいと思います。田舎の周囲が好きだから、ここに住んでいることが平和的に感じられます。海も近いので、暇なとき、そこで遊ぶことができる。

・ずっとホストファミリーのプログラムに参加したかったけど、なかなか参加する方法がわかりません。他の件に住んでいる留学生に聞いたら、大体各自の高専が紹介していて、参加できたらいいです。もし和歌山高専もホームステイやホストファミリーのプログラムを紹介してくれたら、幸いです。そして、バスの運行時間についてですが、できれば“9時まで”にしてほしいです。地域の祭り、花火大会などの行事へ参加したいですけど、最終バスは6時ぐらいなので、残念ながら、参加できませんでした。今年は和歌山県の御坊市に住む最後の年だから、悔しいことになりました。タクシーで行き帰りしてはできるけど、留学生にとってタクシー代はかなり高いです。今まで2年半ぐらい御坊市で住んでいて、海に近くて、よかったです。交通面が不便だけど、住みやすい所もあり、安心して住め

る町だと思います。またいつか和歌山のみかんやはっさくを食べにきます！

・地域としては、現在和歌山県みたいではない所を望みます。それは、地震・津波などが殆どありません。そして、通学、通行なども便利が良いと望みます。

・デパートがあるところで住みたい。今の生活は悪くはないけど、満足しているとも言えない。

・日本で留学したばかり、とても大変だったが、色々なことが勉強できた。最初はさびしかったと感じたが、今、満足している。大学でチューターと日本語を勉強したり、話したりしていますので、非常に楽しい。今、大学になれ、良い生活をしている。

・望みはありません。環境がいい街です。

・和歌山県の高野山にはお店が少ないと食べ物を高いです。留学生として、アルバイトできる場所が少ないです。そして留学生は困っている。

・都会のようなところにある大学に留学したい。それと、留学生に対してやさしく卒業させてほしい。

令和元年度 県内外国人留学生との交流行事(事業)に関する調査

機関・団体名	実施期間	行事(事業)名
和歌山大学	平成31年4月	4月新入留学生オリエンテーション・新入留学生歓迎交流会
	令和元年6月 ～令和元年7月	前期多言語サロン(本学の学生・教職員を対象に、留学生が生きた言語の習得や異文化を理解する機会を提供)
	令和元年7月	和歌山県交流事業山東師範大学訪問団受入れ
	令和元年8月	留学生による作文コンクール
	令和元年8月	修了留学生のフェアウェルパーティー
	令和元年8月	さくらサイエンスプラン受入実施(北京郵電大学)
	令和元年9月	10月新入留学生オリエンテーション
	令和元年10月	10月新入留学生歓迎交流会
	令和元年11月	日露青年交流センターとの交流会
	令和元年11月	留学生研修旅行(神戸)
	令和元年11月 ～令和元年12月	後期多言語サロン(本学の学生・教職員を対象に、留学生が生きた言語の習得や異文化を理解する機会を提供)
	令和元年12月	留学生による日本語スピーチコンテスト
	令和2年2月	修了留学生のフェアウェルパーティー
	令和2年3月	ブリッジウォーター州立大学研修団受け入れ
	和歌山県立医科大学	令和元年4月
高野山大学	令和元年4月	新入留学生オリエンテーション
	令和元年8月	留学生研修旅行(京都)
	平成元年11月	ころあつたかお鍋のタベ(留学生・日本人学生・教職員交流鍋パーティー)
和歌山工業 高等専門学校	平成元年12月	中学生との文化交流  ウガンダとモンゴルの留学生と河南中学の中学生との文化交流。  出身国の紹介を行い、ゲームなどを英語を使用して交流する。
	令和2年1月	印南町ホームステイ  「かえるの宿」という団体の協力を得て、印南町での農家で民泊を体験する。  トマトの収穫を体験したり、日本文化体験としてもちつきを行う

令和元年度 県内外国人留学生との交流行事(事業)に関する調査

機関・団体名	実施期間	行事(事業)名
和歌山県 日中友好協会	令和元年10月	「中日友好千年萬年」の記念碑顕彰式典 中国駐大阪総領事館の職員と中国からの留学生が参加して毎年行っている。
	令和2年1月	新年互礼会
和歌山県山東省 文化交流協会	令和元年12月	山東省出身留学生等との交流懇談会 和歌山県・山東省の日常のことや歴史・文化を語り合い、 懇談を通じて交流を図る。
和歌山国際 ボランティア組織 KNOW	令和元年10月	第29回外国人による日本語スピーチ大会 在住外国人の方々に日頃学んだ日本語を使ってスピーチをしてもらう。 「暗唱の部」と「スピーチの部」に分かれる。日本語で発表する機会の提供を 通じて、相互理解と親睦を深めることを目的とする。
	令和2年1月	新春国際交流パーティー 新年をお祝いするとともに、餅つきやゲーム等 各種アトラクション観賞、交流を通して参加者同士の親睦を深める。
国際ソロプチミスト 和歌山	令和2年1月	来和留学生と国際ソロプチミスト和歌山会員との交流会 「音楽を楽しもう！」 今までは会員と留学生との交流だけだったが、今回は スポンサーをしている和歌山大学吹奏楽団と協同に行う事となった。 この三者で留学生各々の出身国の歌、音楽などを通じて 共有できるひと時を楽しむことができればと計画した。
和歌山 ロータリークラブ	令和元年8月 ～ 令和2年6月	長期交換留学生受け入れ事業 国際ロータリー第1810 地区（ドイツ）と第 2640 地区（大阪南部及び 和歌山）の間で約 1 年間、留学生の相互受け入れを実施し、 両国に対する理解を深め、世界理解、親善、平和の実現を目指す。 好ましいホストファミリー の受け入れ態勢を整え、就学環境を調整し、 ロータリークラブ例会への参加、各種交流事業参加を通じて 日本の伝統文化に触れ、地域社会への理解を深めてもらう。

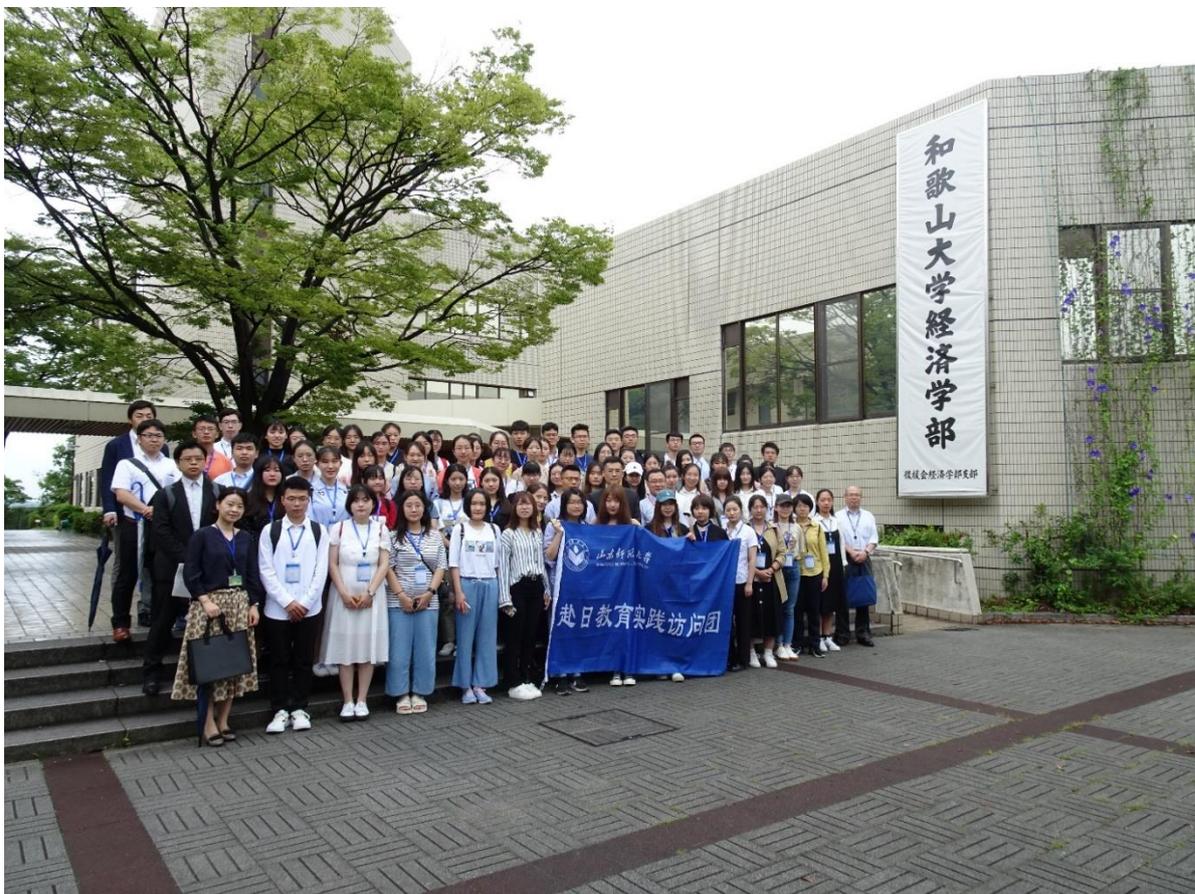
令和元年度 県内外国人留学生との交流行事（事業）に関する調査

機関・団体名	実施期間	行事（事業）名
NPO法人 WINコンコード	平成31年4月 ～ 令和2年3月	生活関連の情報提供や支援 生活用品の貸与 ホストファミリーとしての支援（日本での生活についての相談等） 病院等への付き添い 小旅行（関西の名所を訪ね、説明を受けながら各地を楽しく一日を過ごす） 日本古典芸能の鑑賞（新作歌舞伎「ナルト」古典歌舞伎能「清経」「殺生石」落語など、色々な日本の伝統芸能を鑑賞） 卒業生との交流（今年度は中国、タイ、シンガポール、フィリピン、ウズベキスタン、フランスなどの卒業生が来訪） 日本文化歴史遺産の鑑賞（その時々展览展示している美術等鑑賞）
	平成31年4月	新入生歓迎お花見 皆で花見弁当を食べ自己紹介をした後、 バドミントン・バレーボールなどをして交流を深めた。
	平成31年4月	ホストファミリーBBQパーティー 留学生、WINのメンバーその友人達が集まり、大きな桜の木の下で バーベキューをし交流を深めた。
	令和元年5月	第11回NPO法人WINコンコード総会・交流会 各国からの留学生達が色々なパフォーマンスを繰り広げ、 県からも参加を頂き一緒に会を盛り上げた。
	令和元年7月	2019年度アジア・オセアニア高校生フォーラムレセプション アジア20か国からの高校生、引率教員を県が招待し、和歌山県下の 高校生と意見交換をしたフォーラムの最終日に行われた パーティーに参加した。各国高校生のパフォーマンスもあった。
	令和元年9月	第28回留学生の故郷を語る集い—後期新入生歓迎会— マレーシア留学生による発表後、全員自己紹介をして 食事と会話を楽しんだ。後期新入留学生の歓迎会を兼ねる。
	令和元年11月	大学祭模擬店への協力（留学生が出店するための各種支援）
	令和元年12月	新堀こども園でお餅つき大会 子ども達がたてたお茶を頂いた後、皆で餅つきを行い雑煮を頂いた。
	令和元年12月	八朔狩りと鍋パーティー
	令和2年1月	お正月体験
	令和2年2月	会社訪問〔（株）島精機製作所〕

## 交流行事

### 〈和歌山大学〉

和歌山県交流事業山東師範大学訪問団受入（紀州経済史文化史研究所見学）



### 多言語サロン



## 交流行事

### 後期新入留学生歓迎会



### 留学生研修旅行（神戸）



## 交流行事

### 〈高野山大学〉

#### 鍋パーティー



#### 曼荼羅祭



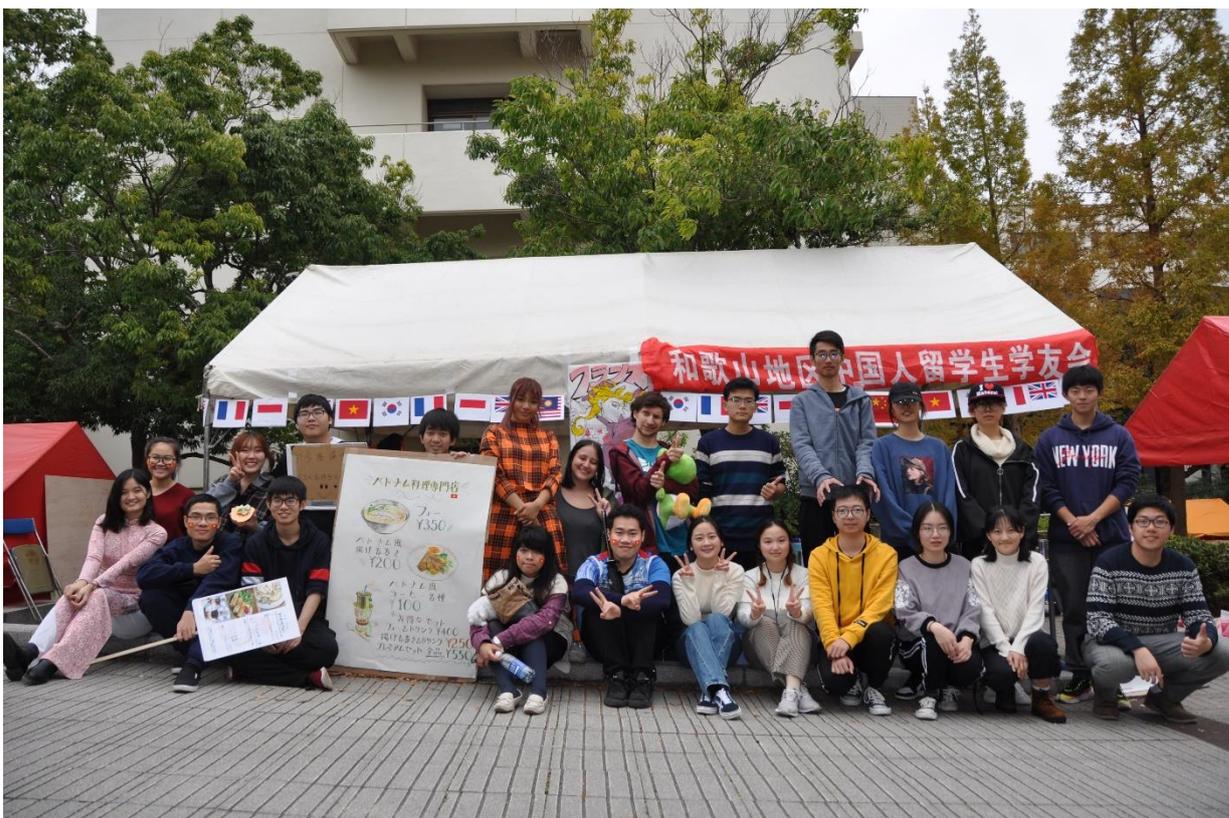
## 交流行事

〈NPO 法人 WIN コンコード〉

新入生歓迎お花見



## 大学祭



# 和歌山地域の留学生受入状況

令和元年10月1日現在

大学等名 国名(地域)		和歌山大学	和歌山県立医科大学	高野山大学	近畿大学 生物理工学部	和歌山信愛 女子短期大学	和歌山工業 高等専門学校	合計	
		ア	中国	119	1	14	6	-	
	マレーシア	14		1		-	4	19	
	韓国	6				-		6	
	ベトナム	12	1	1		-		14	
	インドネシア	4				-		4	
	シンガポール					-		0	
ジ	台湾	4			1	-		5	
	ネパール			1	1	-		2	
	タイ			1		-		1	
ア	フィリピン		1			-		1	
	カンボジア			3		-	1	4	
	バングラデシュ					-		0	
	モンゴル	2				-	2	4	
	ラオス					-	1	1	
オセアニア	ソロモン諸島					-		0	
欧州	フランス	4				-		4	
	イギリス	1				-		1	
	ブルガリア					-		0	
	ベラルーシ					-		0	
	ハンガリー					-		0	
	スイス					-		0	
	ロシア					-		0	
	タジキスタン	1						1	
	ウズベキスタン	1				-		1	
	カザフスタン					-		0	
アラバニア		1					1		
中東	トルコ					-		0	
アフリカ	ガボン	1				-		1	
	ガーナ	1				-		1	
	ウガンダ					-	1	1	
	エジプト	1	1			-		2	
	コンゴ		1			-		1	
	ナイジェリア		1			-		1	
北米	アメリカ合衆国					-		0	
中南米	アルゼンチン					-		0	
	ブラジル					-		0	
合計 (23カ国)		171	7	21	8	-	9	216	
留学費用別内訳	国費留学生	9	5			-	3	17	
	私費留学生	外国政府派遣留学生	13				-	6	19
		交換留学生	46				-		46
		県費留学生					-		0
		上記以外留学生	103	2	21	8	-		134
合計		171	7	21	8	-	9	216	

和歌山地域留学生の推移

	全国5/1	県全体10/1	和歌山大学	県医科大学	高野山大学	和歌山高専	近大生物 理工学部	和歌山信 愛短大	近大青鞆 短大
平成2年	41,347	36	17	9	6	4			
平成3年	45,066	33	25	3	1	4			
平成4年	48,561	41	29	7	1	4			
平成5年	52,405	55	40	8	3	4			
平成6年	53,787	76	58	9	3	5			1
平成7年	53,847	78	58	9	3	5		2	1
平成8年	52,921	76	59	8	1	6		2	
平成9年	51,047	78	55	12	4	7			
平成10年	51,298	75	53	13	3	6			
平成11年	55,755	86	71	9	1	5			
平成12年	64,011	93	75	12	1	4	1		
平成13年	78,812	103	80	17	2	3	1		
平成14年	95,550	123	96	18	3	4	2		
平成15年	109,508	138	110	18	3	5	2		
平成16年	117,302	173	143	20	3	6	1		
平成17年	121,812	178	147	18	3	9	1		
平成18年	117,927	180	150	16	3	10	1		
平成19年	118,498	170	138	18	1	12	1		
平成20年	123,829	174	140	18	1	14	1		
平成21年	132,720	186	151	15	1	16	3		
平成22年	141,774	180	147	13	1	15	4		
平成23年	138,075	178	151	6	1	16	4		
平成24年	137,756	201	177	13	1	8	2		
平成25年	135,519	215	201	4	0	9	1		
平成26年	※184,155	228	206	8	3	8	3		
平成27年	208,379	207	186	5	3	8	5		
平成28年	239,287	176	150	4	6	8	8		
平成29年	267,042	174	137	7	14	7	9		
平成30年	298,980	204	156	6	26	8	8		
令和元年	未掲載	216	171	7	21	9	8		

※平成26年度より高等教育機関及び日本語教育機関における総数を本調査における留学生数としている。  
 (独立行政法人日本学生支援機構ホームページ記載  
[https://www.jasso.go.jp/about/statistics/intl\\_student\\_e/index.html](https://www.jasso.go.jp/about/statistics/intl_student_e/index.html))

## 事業報告

○平成31年2月14日、和歌山大学南一号館 3階 共通会議室において、平成30年度和歌山地域留学生等交流推進協議会（総会）及び運営委員会が同日に開催された。

協議会は、呉海元議長（和歌山大学副学長）が挨拶し、続いて運営委員長代理の和歌山大学国際連携部門の長友副部門長より、平成30年度事業報告（広報誌「きのくに」29号の発行、留学生の生活実態に関するアンケート調査、協議会関係諸団体の留学生交流活動（事業）に関する調査等）についての報告が行われた。

運営委員会は留学生と地域交流の現状や問題と留学生の生活状況及び宿舎に関する説明等が行われた。

なお、平成31年度事業計画として、次のことを実施していくことで承認された。

- ① 県内における留学生の受入れ推進に関すること。
- ② 宿舎確保の推進に関すること。
- ③ 外国人留学生と地域との交流の推進に関すること。
- ④ 各界への理解と協力についての啓発活動に関すること
- ⑤ 広報誌「きのくに」第30号の発行について

※各界の理解と協力を得る上での啓発活動は、留学生の生活実態に関するアンケート調査、協議会関係諸団体の留学生交流活動行事（事業）に関する調査並びに私費外国人留学生への支援活動等について検討し実行することとする。

○当協議会関係諸団体の「留学生交流活動行事（事業）に関する調査」を実施。

○留学生の生活実態に関するアンケート調査を実施。

## 和歌山地域留学生等交流推進協議会要項

(趣旨及び目的)

第1 和歌山県内における外国人留学生等の円滑な受け入れの促進及び地域との交流活動の推進を図るとともに、地域住民の国際理解の増進に寄与するため、和歌山地域留学生等交流推進協議会（以下「協議会」という。）を置く。

(事業)

第2 協議会は、第1に掲げる目的を達成するため、次に掲げる事項について協議する。

- (1) 留学生の受入れの推進
- (2) 留学生の勉学条件及び生活環境の整備
- (3) 留学生と地域住民との交流の推進
- (4) 地域住民に対する啓発
- (5) その他協議会の目的達成に必要な事業

(組織)

第3 協議会は、次に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 和歌山県内の高等教育機関、国の機関、地方公共団体、経済団体及び留学生 国際交流関係団体のうちの関係機関 団体の長又は代表者 各1名
- (2) 学識経験者若干名

2 前項の委員は、議長が委嘱する。

3 第1項第2号の委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。

(議長)

第4 協議会に議長を置き、委員の互選により選出する。

2 議長は、協議会を招集する。

3 議長の任期は、4月1日より2年間とし、再任を妨げない。

(委員以外の者の出席)

第5 議長が必要と認めるときは、委員以外の者を協議会に出席させることができる。

(運営委員会)

第6 協議会の円滑な運営を図るため、協議会の下に和歌山地域留学生等交流推進協議会運営委員会（以下「運営委員会」という。）を置く。

2 運営委員会は、次に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 第3の第1項第1号に定める機関 団体から推薦された実務担当責任者各1名
- (2) その他協議会が必要と認めた者 若干名

3 前項の委員は、協議会議長が委嘱する。

4 第2項第2号の委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。

5 運営委員会に委員長を置き、協議会議長が指名する者をもって充てる。

6 委員長の任期は、4月1日より2年間とし、再任を妨げない。

(事務)

第7 協議会及び運営委員会の事務は、国立大学もしくは地方公共団体等が担当する。

(雑則)

第8 この要項に定めるもののほか、協議会及び運営委員会の運営に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この要項は、平成2年2月13日から施行する。

附 則

この改正要項は、平成13年4月1日から施行する。

### 和歌山地域留学生等交流推進協議会に関する申合せ事項

○ 協議会の運営について

1. 協議会は、年1～2回開催することとする。
2. 協議会には、必要に応じ運営委員会委員の出席を求めるものとする。

○ 運営委員会の運営について

1. 委員長は、運営委員会を招集し、その議長を務める。
2. 運営委員会は、協議会の事業計画に関する具体的事項について協議するため、適宜開催するものとする。
3. 運営委員会の運営に関し必要な事項は、運営委員会が定める。

○ 協議会議長並びに運営委員会委員長の任期の取り扱いについて

1. 協議会議長並びに運営委員会委員長の出身団体における任期が終了した場合、前任者の残任期間は、出身団体における後継者が、その任にあたる。

附 則

この改正事項は、平成13年4月1日から施行する。